

---

# PeopleSoft Enterprise ヒューマン リソース管理 9.0 PeopleBook: 報酬管理

---

2006 年 12月

PeopleSoft Enterprise ヒューマン リソース管理 9.0 PeopleBook: 報酬管理  
SKU HRMS9HAC-B 1206JPN  
Copyright © 1988–2006, Oracle. All rights reserved.

本プログラム（ソフトウェアおよび文書）には、財産的情報が含まれています。本プログラムは、使用および公開に関する制約が明記されたライセンス契約に従うことを条件として提供され、著作権、特許権などの知的財産権法および産業財産権法により保護されています。本プログラムのリバース エンジニアリング、逆アセンブル、または逆コンパイルは、他の独立したソフトウェアとの相互運用性の確保に必要とされる範囲または法的に規定された範囲を除き、禁じます。

本書に記載されている情報は、予告なく変更されることがあります。本書の内容に問題があった場合は、当社まで書面によりご通知ください。Oracle は、本書の内容に全く誤りがないことを保証するものではありません。ライセンス契約に明示的に規定された場合を除き、形式または手段（電子的、機械的など）、および目的の如何にかかわらず、本プログラムを複製または転送することを禁じます。

本プログラムが、アメリカ合衆国政府、またはその代理として本プログラムを使用する者に提供される場合には、以下の条項が適用されます。

## U.S. GOVERNMENT RIGHTS

Programs, software, databases, and related documentation and technical data delivered to U.S. Government customers are “commercial computer software” or “commercial technical data” pursuant to the applicable Federal Acquisition Regulation and agency-specific supplemental regulations. As such, use, duplication, disclosure, modification, and adaptation of the Programs, including documentation and technical data, shall be subject to the licensing restrictions set forth in the applicable Oracle license agreement, and, to the extent applicable, the additional rights set forth in FAR 52.227-19, Commercial Computer Software—Restricted Rights (June 1987). Oracle Corporation, 500 Oracle Parkway, Redwood City, CA 94065.

本プログラムは、原子力、航空、大量輸送、医療などの本質的に危険を伴う用途を目的として作成されていません。危険を伴う用途に本プログラムを使用する場合の障害対策、バックアップ、および冗長構成などの適切な措置を講じた安全性の確保は、ライセンス供与を受けた者の責任とし、これらの用途に使用された場合のいかなる損失や障害について、当社は一切責任を負いません。

本プログラムには、Web サイトへのリンクが含まれており、サードパーティのコンテンツ、製品、およびサービスへのアクセスが発生する場合があります。サードパーティの Web サイトの運用およびそのコンテンツについて、Oracle は一切責任を負いません。これらのコンテンツの使用上の全ての責任は、使用者が負うこととします。サードパーティから製品またはサービスを購入する場合は、その購入者とサードパーティの間の直接取引になります。(a) サードパーティの製品またはサービスに関する品質、(b) サードパーティとの契約におけるいかなる条件の遵守（製品またはサービスの提供、また、購入された製品またはサービスに関する保証義務など）について、Oracle は一切責任を負いません。サードパーティとの取引に伴ういかなる損失や障害について、Oracle は一切責任を負いません。

Oracle、JD Edwards、PeopleSoft、および Siebel は、米国 Oracle Corporation およびその関連会社の両方またはいずれかの登録商標です。その他の会社名および製品名は所有各社の商標です。

## オープン ソースの利用について

Oracle は、オープンソースまたはシェアウェアのソフトウェアの使用または配布について責任を負いません。また、これらのソフトウェアまたは文書の使用によるいかなる損失や障害についても一切責任を負いません。Oracle の PeopleSoft 製品には以下のオープンソースソフトウェアが使用される場合があります、これらには下記の免責条項が適用されます。

Apache Software Foundation

この製品には、Apache Software Foundation (<http://www.apache.org/>) によって開発されたソフトウェアが含まれています。Copyright (c) 2000–2003. The Apache Software Foundation. All rights reserved. ライセンスは、Apache ライセンス バージョン 2.0 (以下「ライセンス」) に基づいて許可されます。ライセンスの順守なく、このファイルを使用することは禁じられています。ライセンスのコピーは、<http://www.apache.org/licenses/LICENSE-2.0> で入手できます。

適用法により求められた場合、または書面をもって同意された場合を除き、ライセンスに基づいて配布されたソフトウェアは、明示的、黙示的を問わず一切の保証または条件なしに現状のまま提供されています。特定の言語下のライセンス許諾事項および制限事項については、ライセンスを確認してください。

OpenSSL

Copyright (c) 1998–2005 The OpenSSL Project. All rights reserved.

この製品には、OpenSSL Project (<http://www.openssl.org/>) によって OpenSSL Toolkit 用に開発されたソフトウェアが含まれています。

このソフトウェアは OpenSSL Project によって現状のまま提供されており、商品性や特定の目的への適合性に対する保証はもとより、明示的にも黙示的にも、一切の保証はありません。OpenSSL Project およびその共同提供者は、いかなる損害に対しても責任を負いません。これは、その損害が、直接的、間接的、付随的、特殊、典型的、または必然的であるか否かを問いません。また、代替品の購入や代替サービスの利用、有用性およびデータや利益の損失、業務の中断に対する保証もいたしません。本ソフトウェアの使用によるあらゆる損害の発生に対して、契約の記載や、重大な過失などによる権利侵害の有無にかかわらず、また、そのような損害の可能性について報告を受けていたとしても、OpenSSL Project は一切責任を負いません。

Loki Library

Copyright (c) 2001 by Andrei Alexandrescu. このコードは次の書籍に掲載されています。Alexandrescu, Andrei. “Modern C++ Design: Generic Programming and Design Patterns Applied”. Copyright (c) 2001 Addison-Wesley. このソフトウェアの複製、変更、配布、および販売は、その目的を問わず、全ての複製に上記の著作権表示を付すること、付属文書に著作権表示およびこの許可表示の両方を付することを条件に許可されます。

Helma Project

Copyright (c) 1999–2004 Helma Project. All rights reserved. このソフトウェアは現状のまま提供されており、商品性や特定の目的への適合性に対する保証はもとより、明示的にも黙示的にも、一切の保証はありません。Helma Project およびその共同提供者は、いかなる損害に対しても責任を負いません。これは、その損害が、直接的、間接的、付随的、特殊、典型的、または必然的であるか否かを問いません。また、代替品の購入や代替サービスの利用、有用性およびデータや利益の損失、業務の中断に対する保証もいたしません。本ソフトウェアの使用によるあらゆる損害の発生に対して、契約の記載や、重大な過失などによる権利侵害の有無にかかわらず、また、そのような損害の可能性について報告を受けていたとしても、Helma Project は一切責任を負いません。

Helma には、個別のライセンス条件に基づいてリリースされたサードパーティソフトウェアが含まれます。ライセンスの一覧については、Helma のディストリビューションに含まれるライセンス ディレクトリを参照してください。

Sarissa

Copyright (c) 2004 Manos Batsis.

このライブラリは、フリー ソフトウェアです。フリー ソフトウェア財団 (Free Software Foundation) によって発行された GNU Lesser General Public License (バージョン 2.1 またはそれ以降のバージョン) の定める条件の下で再配布や修正を行うことができます。

このライブラリの有用性は保証されるものではなく、商品性や特定の目的への適合性に対する黙示的な保証を含め、一切の保証なく配布されます。詳細については、GNU Lesser General Public License を参照してください。

GNU Lesser General Public License は、このライブラリと共に提供されています。提供されていない場合は、Free Software Foundation, Inc. (59 Temple Place, Suite 330, Boston, MA 02111-1307 USA) にお問い合わせください。

ICU

ICU ライセンス – ICU 1.8.1 およびそれ以降の著作権表示および許可表示 Copyright (c) 1995–2003 International Business Machines Corporation and others. All rights reserved.

本ソフトウェアおよび関連文書ファイル（以下「ソフトウェア」）の複製を取得する全ての人に対し、ソフトウェアの複製を使用、複写、変更、結合、掲載、配布、および/または販売する権利およびソフトウェアを提供する相手に同じことを許可する権利等を含む、ソフトウェアの無制限の取扱いを、上記の著作権表示およびこの許可表示がソフトウェアの全ての複製に付され、付属文書にも記載されることを条件に無償で許可します。ソフトウェアは現状のまま提供されており、商品性、特定の目的への適合性、およびサードパーティの権利の非侵害に対する保証はもとより、明示的にも黙示的にも、一切の保証はありません。この表示に示された著作権保持者は、いかなる損害賠償または損害に対する責任を負いません。契約行為、過失、またはその他の不法行為であっても、本ソフトウェアの使用や機能に起因または関係する、特殊、間接的、または結果的損害、あるいは有用性、データまたは利益の損失による損害か否かにかかわらず、著作権保持者は一切責任を負いません。この許可表示に記載されている場合を除き、著作権保持者による書面による事前の許可がない限り、著作権保持者の名前は広告や、その他の販売/使用プロモーション、またはこのソフトウェアのその他の取引に使用できません。

ここに記載された名称は、それぞれの所有者の商標または登録商標です。

Sun の JAXB 実装 – JDSDK 1.5 relaxngDatatype.jar 1.0 ライセンス

Copyright (c) 2001, Thai Open Source Software Center Ltd, Sun Microsystems. All rights reserved.

このソフトウェアは著作権保持者およびその共同提供者によって現状のまま提供されており、商品性や特定の目的への適合性に対する保証はもとより、明示的にも黙示的にも、一切の保証はありません。開発者およびその共同提供者は、いかなる損害に対しても責任を負いません。これは、その損害が、直接的、間接的、付随的、特殊、典型的、または必然的であるか否かを問いません。また、代替品の購入や代替サービスの利用、有用性およびデータや利益の損失、業務の中断に対する保証もいたしません。本ソフトウェアの使用によるあらゆる損害の発生に対して、契約の記載や、重大な過失などによる権利侵害の有無にかかわらず、また、そのような損害の可能性について報告を受けていたとしても、開発者は一切責任を負いません。

W3C IPR SOFTWARE NOTICE

Copyright (c) 2000 World Wide Web Consortium, (Massachusetts Institute of Technology, Institut National de Recherche en Informatique et en Automatique, Keio University). All Rights Reserved.

注: W3C Software Copyright Notice and License の原著は、<http://www.w3.org/Consortium/Legal/copyright-software-19980720> で入手できます。

このソフトウェアおよび文書は現状のまま提供されており、著作権保持者は、商品性、特定の目的への適合性、およびソフトウェアおよび文書の使用によるサードパーティの特許権、著作権、商標またはその他の権利の非侵害に対する保証はもとより、明示的にも黙示的にも、一切の表明や保証を行うものではありません。著作権保持者は、ソフトウェアまたは文書の使用にかかわる直接的、間接的、特殊、必然的ないかなる損害に対しても責任を負いません。



# 目次

## はじめに

この PeopleBook について .....	ix
PeopleSoft Enterprise アプリケーションを使用するにあたって必要な知識.....	ix
アプリケーションの基礎.....	ix
最新版ドキュメンテーションおよび出力されたドキュメンテーションの入手.....	x
最新版ドキュメンテーションの入手 (英語版のみ).....	x
出力されたドキュメンテーションの注文とダウンロード.....	x
追加情報.....	xi
表記規則.....	xii
表記規則.....	xii
注意事項の表示.....	xiii
国、地域、業種の表記.....	xiv
通貨コード.....	xiv
ご意見・ご要望をお寄せください.....	xiv
PeopleBook で使用する共通フィールド.....	xv

## まえがき

PeopleSoft Enterprise ヒューマン リソース管理: 報酬管理 – まえがき.....	xix
対象の PeopleSoft 製品.....	xix
PeopleSoft Enterprise アプリケーションの基礎.....	xix
PeopleBook の構成.....	xx
この PeopleBook で使用する共通フィールド.....	xxii

## 第 1 章

報酬管理 – はじめに.....	1
報酬管理の概要.....	1
報酬管理のビジネス プロセス.....	1
報酬管理の統合.....	2
報酬管理の導入.....	2

## 第 2 章

報酬管理の設定.....	5
報酬管理について.....	5

給与レートコードの設定.....	6
給与レートコードの設定に使用するページ.....	6
給与レートコード クラスの作成.....	7
給与レートコードの定義.....	7
年功給与レートコードの作成.....	11
年功給与レートコードと昇給との関連付け.....	11
給与レートコードに関連付けられたデフォルト ルールの表示.....	13
給与レートコード グループの定義.....	14
給与レートコード グループについて.....	14
パーセントと給与レートコード グループについて.....	14
給与レートコード グループの作成に使用するページ.....	15

### 第 3 章

給与レートの定義とルール ベースのコンポーネント デフォルト設定.....	17
ルール ベースのコンポーネント デフォルト設定について.....	17
従業員の給与レートの定義.....	18
ルール ベースのコンポーネント デフォルト設定の定義.....	19
ルール ベースのコンポーネント デフォルト設定の定義に使用するページ.....	19
コンポーネント デフォルト ルールを定義する際に使用するフィールドの指定.....	19
コンポーネント デフォルト ルールの定義.....	21
コンポーネント デフォルト ルール条件の作成.....	21
値とコンポーネント デフォルト ルール条件との関連付け.....	22
コンポーネント デフォルト ルールへの給与レートコードの割り当て.....	23

### 第 4 章

報酬管理における賃金引上機能の使い方.....	25
賃金引上と報酬管理について.....	25
前提条件.....	25
報酬管理での賃金引上の設定および使い方.....	25
報酬管理における賃金引上の設定および使用に使用するページ.....	26
賃金引上ルールを含む給与プランの定義.....	26
賃金引上ルールの定義.....	28
給与プランへの賃金引上ルールの適用.....	31

### 第 5 章

年功給管理.....	33
年功給の更新プロセスについて.....	33

年功給管理.....	33
事前設定.....	34
年功給の管理に使用するページ.....	34
年功給コンポーネントの更新.....	35
年功給コンポーネント対象従業員の確認.....	36
 <b>第 6 章</b>	
<b>従業員給与情報のリフレッシュ.....</b>	<b>39</b>
給与デフォルトについて.....	39
給与パッケージの変更.....	39
給与の再計算.....	40
給与プランの給与デフォルトについて.....	40
給与プランのデフォルト設定.....	40
従業員給与パッケージのリフレッシュ.....	42
従業員給与データのリフレッシュ プロセスについて.....	42
従業員給与パッケージのリフレッシュに使用するページ.....	42
従業員給与データのリフレッシュ プロセスの実行.....	42
 <b>PeopleSoft Enterprise 用語一覧.....</b>	<b>45</b>
 <b>索引 .....</b>	<b>65</b>





# この PeopleBook について

PeopleSoft Enterprise PeopleBook には、オラクル社の PeopleSoft Enterprise アプリケーションの導入と使用に必要な情報が提供されています。

ここでは、以下の事項について説明します。

- PeopleSoft Enterprise アプリケーションを使用するにあたって必要な知識
- アプリケーションの基礎
- 最新版ドキュメンテーションおよび出力されたドキュメンテーションの入手
- 追加情報
- 表記規則
- ご意見・ご要望について
- PeopleBook で使用する共通フィールド

---

**注:** PeopleBook では、追加の説明が必要な場合のみ、フィールドやチェック ボックスなどの説明を記載しています。処理や業務の説明箇所に、そこで使用されるフィールドの説明がない場合は、追加の説明が必要ないか、または、PeopleBook のセクション、章、PeopleBook 全体、または製品ライン全体で使用される共通フィールドとして説明されています。共通フィールドについては、この章の後半を参照してください。

---

---

## PeopleSoft Enterprise アプリケーションを使用するにあたって必要な知識

この PeopleBook の内容を十分に理解して活用するには、PeopleSoft Enterprise アプリケーションの基本的な使い方を熟知している必要があります。

また、少なくとも 1 つの入門トレーニング コースを修了することをお勧めします。

この PeopleBook では、ユーザーが PeopleSoft Enterprise のメニューやページ、ウィンドウなどを使って情報を追加、更新、削除できることを前提としています。また、Web ブラウザと、Microsoft Windows または Microsoft Windows NT の操作に習熟していることも必要です。

ここでは、PeopleSoft システムを操作できることを前提としているため、操作手順についての説明は省略しています。この PeopleBook では、PeopleSoft Enterprise システムを効果的に使っていただくために必要な情報や、PeopleSoft Enterprise アプリケーションを導入するために必要な情報を提供します。

---

## アプリケーションの基礎

各アプリケーションの PeopleBook では、PeopleSoft Enterprise アプリケーションを導入して使用するための情報を提供しています。

一方、一部のアプリケーションについて、システムを設定したり設計するときに必要となる情報は、『PeopleSoft Enterprise アプリケーションの基礎 PeopleBook』に書かれています。『PeopleSoft Enterprise アプリケーションの基礎 PeopleBook』は、ほとんどの製品ラインに用意されています。それぞれの PeopleBook のまえがきに、関連する『PeopleSoft Enterprise アプリケーションの基礎 PeopleBook』の情報が記載されています。

『PeopleSoft Enterprise アプリケーションの基礎 PeopleBook』で取り上げている項目は、どの PeopleSoft Enterprise アプリケーションにも当てはまる、あるいはその多くに共通する重要なものばかりです。PeopleSoft システムを導入する場合、1 つのアプリケーションだけを導入する、製品ラインの中からいくつかのアプリケーションを組み合わせで導入する、または製品ライン全体を導入するといったように複数の選択肢がありますが、いずれの場合でも、この『PeopleSoft Enterprise アプリケーションの基礎 PeopleBook』に書かれている内容を十分に理解しておく必要があります。基礎的な内容を理解することが、導入タスクに着手する出発点となります。

---

## 最新版ドキュメンテーションおよび出力されたドキュメンテーションの入手

このセクションでは、以下の方法について説明します。

- 最新版ドキュメンテーションの入手（英語版のみ）
- 出力されたドキュメンテーションの注文とダウンロード

### 最新版ドキュメンテーションの入手（英語版のみ）

本リリースおよび旧リリースの最新版および追加ドキュメンテーションは、オラクル社の PeopleSoft Customer Connection Web サイトから入手できます。オラクル社の PeopleSoft Customer Connection にある Documentation セクションでファイルをダウンロードし、既存の PeopleBook ライブラリに追加することができます。PeopleBook の CD-ROM に含まれる PeopleSoft Enterprise ドキュメンテーション全体へのアップデートを含め、役に立つ最新情報が掲載されています。

---

**重要:** アップグレードが必要な場合は、オラクル社の PeopleSoft Customer Connection でアップグレードに関する指示に変更がないか確認してください。常に、アップグレード処理に関する最新情報が掲載されています。

---

#### 関連項目:

オラクル社の PeopleSoft Customer Connection: [http://www.oracle.com/support/support\\_peoplesoft.html](http://www.oracle.com/support/support_peoplesoft.html)

### 出力されたドキュメンテーションの注文とダウンロード

PeopleSoft Enterprise ドキュメンテーションは、PeopleBook CD-ROM に収録されていますが、オラクル社の Web サイトから入手することもできます。以下のいずれかの方法で入手できます。

- PDF ファイルをダウンロードする。
- 印刷・製本されたドキュメンテーションを注文する。

## PDF ファイルのダウンロード

PeopleSoft Enterprise ドキュメンテーションの PDF 版は、Oracle Technology Network からオンラインでダウンロードできます。PDF ファイルは、メジャー リリースごとに提供され、ソフトウェア出荷後にオンラインで入手できます。

参照: Oracle Technology Network: <http://www.oracle.com/technology/documentation/psftent.html>.

## 印刷・製本されたドキュメンテーションの注文

印刷・製本されたドキュメンテーションは、Oracle Store から注文できます。

参照: Oracle Store: [http://oraclestore.oracle.com/OA\\_HTML/ibeCCtpSctDspRte.jsp?section=14021](http://oraclestore.oracle.com/OA_HTML/ibeCCtpSctDspRte.jsp?section=14021)

## 追加情報

オラクル社の PeopleSoft Customer Connection Web サイトから、以下の情報を入手できます。

情報	ナビゲーション
アプリケーションのメンテナンス情報	[Updates + Fixes]
ビジネスプロセス図	[Support]、[Documentation]、[Business Process Maps]
インタラクティブ サービス リポジトリ	[Support]、[Documentation]、[Interactive Services Repository]
ハードウェア要件とソフトウェア要件	[Implement, Optimize + Upgrade]、[Implementation Guide]、[Implementation Documentation and Software]、[Hardware and Software Requirements]
インストール ガイド	[Implement, Optimize + Upgrade]、[Implementation Guide]、[Implementation Documentation and Software]、[Installation Guides and Notes]
統合情報	[Implement, Optimize + Upgrade]、[Implementation Guide]、[Implementation Documentation and Software]、[Pre-Built Integrations for PeopleSoft Enterprise and JD Edwards EnterpriseOne Applications]
最低要件	[Implement, Optimize + Upgrade]、[Implementation Guide]、[Supported Platforms]
最新版ドキュメンテーション	[Support]、[Documentation]、[Documentation Updates]
PeopleBook サポート ポリシー	[Support]、[Support Policy]
プレリリース ノート	[Support]、[Documentation]、[Documentation Updates]、[Category]、[Release Notes]
製品出荷予定	[Support]、[Roadmaps + Schedules]

情報	ナビゲーション
リリースノート	[Support]、[Documentation]、[Documentation Updates]、[Category]、[Release Notes]
リリースバリュープロポジション	[Support]、[Documentation]、[Documentation Updates]、[Category]、[Release Value Proposition]
製品概要	[Support]、[Documentation]、[Documentation Updates]、[Category]、[Statement of Direction]
トラブルシューティング情報	[Support]、[Troubleshooting]
アップグレード関連のドキュメンテーション	[Support]、[Documentation]、[Upgrade Documentation and Scripts]

## 表記規則

このセクションでは、以下の事項について説明します。

- 表記規則
- 注意事項の表示
- 国、地域、業種の表記
- 通貨コード

## 表記規則

PeopleBook は、次の表記規則に従って記述されています。

表記規則	説明
太字	PeopleCode の関数名、メソッド名、言語要素や、関数呼び出しでそのまま記述すべき PeopleCode の予約語は太字で記述しています。
斜体	PeopleCode の構文で、プレースホルダとなる引数部分は斜体になっています。
キー + キー	キーを組み合わせる操作を示しています。キー名とキー名の間にプラス記号がある場合は、最初のキーを押しながら 2 番目のキーを押すという意味です。たとえば、Alt + W は、Alt キーを押しながら W キーを押すことを表します。

表記規則	説明
monospace font (固定幅のフォント)	PeopleCode のプログラムや、その他のコードの例の表記には、この固定幅のフォントを使用しています。
...(省略記号)	PeopleCode の構文で、先行要素の任意の繰り返しを示します。
{ }(中かっこ)	PeopleCode の構文で、2つの選択肢のうちいずれか一方を選択することを示します。選択肢は縦棒( )で区切られています。
[ ](角かっこ)	PeopleCode の構文で、省略できる要素を示します。
&(アンパサンド)	PeopleCode の構文で、アンパサンドが頭に付いたパラメータはインスタンス化されたオブジェクトであることを示します。  また、PeopleCode の変数は必ずアンパサンドが頭に付きます。

## 注意事項の表示

注意事項は、以下のような形式で示されています。

### 注

PeopleSoft Enterprise システムを使って作業するときの注意事項が書かれています。

---

**注:** 注意事項は、このような形式で示しています。

---

システムが正しく機能するために必ず守っていただきたい大切な事柄は、“重要:”と示されています。

---

**重要:** 重要な注意事項は、このような形式で示しています。

---

### 警告

PeopleSoft システムの導入にあたって、特に注意しなければならない重要な事柄は、“警告:”と示されています。“警告:”と書かれた部分には十分な注意を払ってください。

---

**警告:** 警告は、このような形式で示しています。

---

### 相互参照

相互参照は、“参照:”、または“関連項目:”という形で示しています。すぐ前で説明した情報に関連する他のドキュメンテーションが相互参照として示されています。

## 国、地域、業種の表記

特定の国、地域、業種にのみ関連する情報については、国や地域名などをかっこ書きで付記して示しています。このような国や地域の表示は、通常はセクションの見出しに付記されますが、注意事項などに付記されることもあります。

特定の国を対象とした見出しの例: 「(FRA) 従業員の採用」

特定の地域を対象とした見出しの例: 「(中南米) 減価償却の設定」

### 国の表記

国際標準化機構 (ISO) が定める国コードを使って表記しています。

### 地域の表記

地域を表す名称で表記しています。以下に例を示します。

- アジア太平洋
- ヨーロッパ
- 中南米
- 北米

### 業種の表記

業種を表す名称か略称を使って表記しています。以下に例を示します。

- USF (米国連邦政府)
- E&G (教育/公的機関)

## 通貨コード

金額は ISO が定める通貨コードを使って表記しています。

---

## ご意見・ご要望をお寄せください

PeopleBook についてのご意見、ご要望を下記にお寄せください。

〒158-0097  
東京都世田谷区用賀 4-10-1  
SBS タワー 13F

(日本オラクル株式会社内) 日本オラクルインフォメーションシステムズ株式会社  
WPTG ランゲージマネジャー宛

TEL: 03-5797-6471

または、ETSJPN\_US@ORACLE.COM へ電子メールでご連絡ください。

いただいた電子メール全てにご返答のできない場合もありますが、弊社では皆様のご意見やご要望に留意し、貴重な情報として今後の参考にさせていただきます。

## PeopleBook で使用する共通フィールド

指定日	この日付までのデータが、レポートまたはプロセスの対象になります。
ビジネス ユニット	ビジネス情報をまとめる上位レベルの組織の ID です。ビジネス ユニットを利用して、1 つの大きな組織の中に地域別または部門別に複数のユニットを定義することができます。
説明	30 文字までのテキストを入力できます。
有効日	テーブル行が有効になる日付、またはアクションが開始される日付です。たとえば、元帳を 6 月 30 日に締める場合、元帳締めの有効日は 7 月 1 日となります。情報をいつ表示、変更できるかも有効日により管理されます。この情報を使用するページやバッチ処理では、現在行が使用されます。
1 回限り、常時処理、実行しない	<p>“1 回限り” を選択すると、次のバッチ処理実行時にリクエストが実行されます。バッチ処理が実行されると、処理頻度は自動的に “実行しない” に設定されます。</p> <p>“常時処理” を選択すると、バッチ処理が実行されるたびに毎回リクエストが実行されます。</p> <p>“実行しない” を選択すると、バッチ処理が実行されてもこのリクエストは実行されません。</p>
プロセス モニター	このリンクをクリックすると、プロセス リスト ページに移動して、送信したプロセス リクエストのステータスを確認できます。
レポート マネージャ	このリンクをクリックすると、レポート リスト ページに移動して、レポート内容の表示、レポート ステータスの確認、レポートと配信リストの詳細を表示する内容詳細メッセージの照会を行うことができます。
リクエスト ID	レポートまたはプロセスの選択条件のセットを表す ID です。
実行	このボタンをクリックしてプロセス リクエスト ページにアクセスすると、プロセスまたはジョブの実行場所、およびプロセスの出力フォーマットを指定できます。
セットID	コントロール テーブル情報のセット、つまり、テーブルセットを表す ID です。テーブルセットを使用すると、コントロール テーブル情報や処理オプションをビジネス ユニット間で共有できます。これは、データの重複やシステムメンテナンスの作業を減らすために使用されます。ビジネス ユニット内のレコード グループにセットID を割り当てると、レコード グループ内の全てのテーブルは、そのビジネス ユニットと、そのレコード グループに同じセットID を割り当てているその他のビジネス ユニットとの間で共有されます。たとえば、いくつかのビジネス ユニット間で共有される共通の職務コードのグループを定義したりできます。職務コードを共有する各ビジネス ユニットには、そのレコードについて同じセットID が割り当てられます。
略称	15 文字までのテキストを入力できます。
ユーザー ID	トランザクションを実行する人物を表す ID です。

ここからは EnterpriseOne  
の用語です。

住所録番号	エンティティのマスター レコードを識別する固有の番号を入力します。住所録番号は、顧客、仕入先、会社、従業員、応募者、加入者、テナント、などの ID として使用できます。アプリケーションによっては、ページ上の住所録番号フィールドが、顧客番号、仕入先番号、会社番号、従業員 ID、応募者 ID、参加者 ID、などに相当する場合があります。
仮定通貨コード	取引金額の表示に使う通貨を指定する 3 文字のコードを入力します。このコードを使用すると、取引を最初に入力したときに使用した外国通貨または国内通貨以外の任意の通貨で、取引金額を表示できます。
バッチ番号	システムで処理されるトランザクションのグループを表す番号が表示されます。バッチ番号は入力フォーム上で割り当てることができます。自動採番プログラム (P0002) を使用して自動的に割り当てることもできます。
バッチ日付	バッチが作成される日付を入力します。このフィールドを空白にすると、システム日付がバッチ日付になります。
バッチ状況	<p>バッチの転記状況を示すユーザー定義コード (UDC) テーブル 98/IC のコードが表示されます。有効な値は次のとおりです。</p> <p>空白: バッチは転記されず、承認が保留状態になります。</p> <p>A: バッチにエラーがなく転記が承認されますが、保留状態でまだ転記されていません。</p> <p>D: バッチが正常に転記されています。</p> <p>E: バッチにエラーがあります。転記する前にバッチを修正する必要があります。</p> <p>P: バッチの転記中です。転記が完了するまでバッチは使用できません。転記中にエラーが発生すると、バッチ状況は E に変更します。</p> <p>U: 別のユーザーがバッチを操作中のため一時的に使用できないか、またはバッチの処理中に停電があったため、バッチが使用中と認識されています。</p>
事業所	個別のエンティティ (倉庫、作業、プロジェクト、ワーク センター、配送と製造を行う事業所) を表すコードを入力します。一部のシステムでは、ビジネス ユニットと呼ばれます。
ビジネス ユニット	コストの追跡対象となる業務内の個別のエンティティを表す英数字のコードを入力します。一部のシステムでは、事業所と呼ばれます。
カテゴリ コード	特定のカテゴリ コードを表すコードを入力します。カテゴリ コードとは、組織要件の追跡とレポートのためにカスタマイズするユーザー定義のコードです。
会社	特定の組織、資金、その他のレポート対象を表すコードを入力します。会社コードは F0010 テーブルに登録されている必要があり、完全な貸借対照表を持つレポート対象を指定する必要があります。
通貨コード	取引の通貨を表す 3 文字のコードを入力します。JD Edwards EnterpriseOne では、国際標準化機構 (ISO) が定める通貨コードが使用されます。通貨コードは F0013 テーブルに保存されます。



<b>伝票会社</b>	<p>伝票に関連付けられた会社番号を入力します。この番号は、伝票番号、伝票タイプ、元帳日付と共に使用され、当初伝票を一意に識別します。</p> <p>会社と会計年度別に次の番号を割り当てる場合は、伝票会社に基づいて、該当する会社に正確な“次の番号”が割り当てられます。</p> <p>2 つ以上の当初伝票が同じ伝票番号と伝票タイプを持つ場合は、伝票会社を使用して必要な伝票を表示できます。</p>
<b>伝票番号</b>	<p>当初伝票を識別する番号が表示されます。当初伝票は伝票、請求書、仕訳、タイムシートなどになります。当初伝票番号は入力フォーム上で割り当てることができます。自動採番プログラムを使用して自動的に割り当てることもできます。</p>
<b>伝票タイプ</b>	<p>UDC テーブル 00/DT の 2 文字の UDC を入力します。このコードは、伝票、請求書、仕訳、タイムシートなどのトランザクションのソースと目的を表します。JD Edwards EnterpriseOne では、指定した伝票タイプ用に以下のプレフィックスが予約されています。</p> <p>P: 買掛金伝票  R: 売掛金伝票  T: 時間および給与伝票  I: 在庫伝票  O: 購買オーダー伝票  S: 受注オーダー伝票</p>
<b>有効日付</b>	<p>住所、品目、トランザクション、レコードが有効になる日付を入力します。このフィールドの意味はプログラムに応じて異なります。たとえば、有効日付は以下の日付を表します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 住所の変更が有効になる日付</li> <li>• 賃貸契約が有効になる日付</li> <li>• 価格が有効になる日付</li> <li>• 為替レートが有効になる日付</li> <li>• 税率が有効になる日付</li> </ul>
<b>会計期間、会計年度</b>	<p>総勘定元帳の期間と年度を表す数字を入力します。多くのプログラムでは、このフィールドを空白にして、会社名および番号プログラム (P0010) で定義した現行会計期間と年度を使用できます。</p>
<b>元帳日付</b>	<p>取引が転記される会計期間を表す日付を入力します。入力した取引の日付と会社に基づいて割り当てられた会計期間パターンが比較され、適切な会計期間番号と年度を取得して日付が検証されます。</p>



# PeopleSoft Enterprise ヒューマン リソース管理：報酬管理 – まえがき

この章では、以下の内容について説明します。

- 対象の PeopleSoft 製品
- PeopleSoft Enterprise HRMS アプリケーションの基礎
- PeopleBook の構成
- この PeopleBook で使用する共通フィールド

---

**注:** この PeopleBook では、基本的に PeopleBook のセクション、章、PeopleBook 全体、または製品ラインに共通して使われるフィールドについては、共通フィールドとして 1 か所でまとめて説明しています。それ以外に追加の説明が必要だと思われる場合のみ、処理や業務を行うための具体的なページに、そのフィールドの説明を記載しています。

---

---

## 対象の PeopleSoft 製品

この PeopleBook では、PeopleSoft Enterprise ヒューマン リソース管理の報酬管理について説明します。

---

## PeopleSoft Enterprise アプリケーションの基礎

この『PeopleSoft Enterprise 9.0 ヒューマン リソース管理 PeopleBook: 報酬管理』には、PeopleSoft Enterprise ヒューマン リソース管理の報酬管理システムを導入して使用するための情報が記載されています。システムの設定や設計に必要な基本情報は、この PeopleBook の姉妹編とも言える『PeopleSoft Enterprise HRMS 9.0 アプリケーションの基礎 PeopleBook』に記載されています。こうしたドキュメンテーションは PeopleSoft Enterprise の製品ラインごとに用意されています。

『PeopleSoft Enterprise HRMS 9.0 アプリケーションの基礎 PeopleBook』で取り上げている項目は、PeopleSoft Enterprise HRMS 製品ラインのどのアプリケーションにも当てはまる、あるいはその多くに共通する重要なものばかりです。PeopleSoft システムを導入する場合、製品ラインの中から 1 つの製品だけを導入する、または複数の製品を組み合わせで導入するなどいずれの場合でも、この『PeopleSoft Enterprise HRMS 9.0 アプリケーションの基礎 PeopleBook』に書かれている内容を十分に理解しておくことが必要です。コントロール テーブルの設定やセキュリティの管理など基本的な作業の出発点になります。

### 関連項目:

PeopleSoft Enterprise HRMS 9.0 アプリケーションの基礎 PeopleBook、「PeopleSoft Enterprise HRMS アプリケーションの基礎 – まえがき」

## PeopleBook の構成

PeopleSoft PeopleBook の基本的な構成内容は、全ての PeopleBook で共通しています。このことを知っておくと、PeopleBook を効率よく活用できます。

PeopleBook は、タスクの内容ごとに情報がまとめられた構成になっています。各章には、アプリケーションを設定または使用するために必要な処理が個別に説明されています。章内の各セクションには、その処理に含まれるタスクが説明されています。セクション内のサブセクションには、タスクに含まれるステップが説明されています。

パートに分かれている PeopleBook もあります。この場合は、1 つのパートに類似の導入プロセスまたはビジネス プロセスに関する複数の章がまとめられていたり、同じビジネス ソリューションに関係する複数の章がまとめられていたりします。PeopleBook がパートに分けられている場合は、各パートの中身が章に分けられています。

次の表で、PeopleBook に含まれる章の内容を説明します。

章	内容
まえがき	<p>現在開いているこの章です。ここでは、以下の内容について説明します。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>• アプリケーションの基礎 PeopleBook の使い方について</li><li>• PeopleBook の構成について</li><li>• この PeopleBook で使用する共通フィールド (該当フィールドがある場合)</li></ul>
はじめに	<p>この章では、製品導入のガイドラインを解説します。ここでは、以下の内容について説明します。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>• この PeopleBook で説明するビジネス プロセスについて</li><li>• 他の製品との統合について</li><li>• 導入プロセスの概要と、対応するドキュメンテーションについて (実際の導入手順の詳細な説明はありません)。</li></ul>
ナビゲーション	<p>(省略あり) PeopleSoft アプリケーションの中には、特定のビジネス プロセスやタスク、ユーザー ロールなどに便利なフォルダ グループをまとめたカスタム ナビゲーション ページを利用できるものがあります。カスタム ナビゲーション ページのあるアプリケーションの場合は、この章に各ページへの基本のナビゲーション情報を記載します。</p> <p>注: 全てのアプリケーションでカスタム ナビゲーション ページを利用できるわけではありません。</p>

章	内容
製品について	(省略あり)ここでは、製品とその機能の概要を説明します。
設定と導入	<p>この説明は、複数の章にわたる場合があります。これらの章では、製品を設定、導入する手助けとなる情報を記載しています。そのため、たとえば製品のある機能の設定方法は説明していても、その使用方法是説明していない場合があります。各機能の使用方法が知りたい場合は、該当するビジネスプロセスの章を参照してください。</p> <p><b>注:</b> ビジネスプロセスに関する情報が少ない場合は、ビジネスプロセスの章をあえて用意せずに、その情報をこの設定と導入に関する章に記載することもあります。</p>
ビジネスプロセス	<p>この説明は、複数の章にわたる場合があります。通常これらの章では、個々の機能に固有のビジネスプロセスの情報を章ごとに記載しています。そのため、たとえば製品のある機能の使用方法是説明していても、その設定方法は説明していない場合があります。各機能の設定方法が知りたい場合は、該当する設定と導入の章を参照してください。</p> <p><b>注:</b> 設定と導入に関する情報が少ない場合は、設定と導入の章をあえて用意せずに、その情報をこのビジネスプロセスの章に記載することもあります。</p>
付録	(省略あり)必要に応じて、PeopleBook に付録の章がいくつか添付される場合があります。付録には、メインのドキュメンテーションの補足となる情報が記載されます。
標準ワークフローに関する付録	<p>(省略あり)標準ワークフローに関する付録には、アプリケーションに標準で用意されているワークフローの全リストが記載されます。</p> <p><b>注:</b> 全てのアプリケーションに標準ワークフローが用意されているわけではありません。</p>
レポートに関する付録	(省略あり)必要に応じて PeopleBook に添付されます。製品で使用される全レポートの簡略リストが記載されます。レポートの使用方法についての詳細情報は、通常は関連のビジネスプロセスの章で説明します。

## この PeopleBook で使用する共通フィールド

<b>周期</b>	給与レートの算出周期（時間、日次、月次、年次など）を選択できます。
<b>固定的賃金</b>	通常の勤務時間に対する給与です。職務給与レートの計算に含まれる給与コンポーネントの 1 つです。たとえば、従業員の基本給与パッケージは、固定的賃金、生活手当、育児手当、および通勤交通費などのコンポーネントで構成されます。
<b>給与パッケージ</b>	職務データ行にある全ての固定的賃金および固定的賃金外給与のコンポーネントです。
<b>職務コード</b>	職務コード テーブルで定義された各職務の ID です。
<b>職務コード コンポーネント</b>	職務コードに割り当てられた給与コンポーネントです。給与コンポーネントは、“職務コード テーブル” のデフォルト給与ページまたは固定的賃金外ページで、給与レート コードを職務コードに関連付けることで定義されます。
<b>職務給与レート</b>	対応する職務データ行の給与レートです。
<b>固定的賃金外の給与</b>	給与計算で、ペイシートの計算にだけ使用される給与コンポーネントです。職務給与レートの計算には含まれません。たとえば、追加勤務、休暇手当、賞与などを固定的賃金外の給与に設定できます。
<b>給与コンポーネント</b>	給与レコード内で給与パッケージを構成する各データ行を指します。
<b>給与レート コード</b>	給与コンポーネントの ID です。給与レートを定義します。給与レート コードは、各ページで給与コンポーネントを表し、給与レコードで給与パッケージを設定する際に使用されます。給与レート コードは、給与レート コード テーブル コンポーネントで設定します。
<b>レート コード グループ</b>	給与レート コードで表される複数の給与コンポーネントを、給与パッケージのサブセットとしてまとめたものです。レート コード グループを使用すると、給与パッケージ内の一部のコンポーネントに対してのみパーセントに基づく計算を実行できます。レート コード グループは、レート コード グループ ページで設定します。
<b>給与レート コード タイプ</b>	給与レート コードの金額の計算方法を決定します。給与レート コード タイプは、給与レート コード テーブル コンポーネントで指定します。有効値は、[固定額]、[時間給 + 固定額]、[時間給]、[パーセント]、および [点数] です。
<b>レート マトリックス</b>	給与レート コードと関連付けられたマトリックスで、特定の従業員の給与額あるいは給与レートを決定するルールやフォーミュラに使用されます。
<b>ルール ベースの給与コンポーネント</b>	ルール設定を使って、従業員に割り当てる適切な給与レート コードを決定する給与コンポーネントです。ルールは、給与レート コード デフォルト ルール コンポーネントで設定します。
<b>給与ステップ コンポーネント</b>	ステップ コンポーネント ページで対応する給与レート コードを入力することによって、給与ステップに割り当てられる給与コンポーネントです。
<b>年功給</b>	従業員の勤続年数に応じて支給される手当です。
<b>年功給コンポーネント</b>	年功給レート コード クラス (SENPAY) が割り当てられた給与レート コードを持つ給与コンポーネントです。このクラスは、PeopleSoft により配布され、給与レート コード ページで割り当てを行います。年功給機能を利用するには、このコンポーネントを使用します。

**年功給レートコード**

年功給レートコード クラス (SENPAY) と関連付けられた給与レートコードです。このクラスは、PeopleSoft により配布され、給与レートコード ページで割り当てを行います。これらのコードに対する昇給レベルは、給与レートコード テーブル コンポーネントの年功給ページで設定します。





# 第 1 章

## 報酬管理 – はじめに

この章では、以下の内容について説明します。

- 報酬管理のビジネス プロセス
- 報酬管理の導入

---

### 報酬管理の概要

報酬管理機能を使用して、給与コンポーネントを定義し、従業員給与を決定します。職務レコードのフィールドを使用するカスタム ルールに、給与コンポーネントを関連付けると、企業全体で一貫した給与計算を行うことができます。

給与コンポーネントとしては、基本給与、危険環境下における業務に対する追加支給、異なる職務で行う業務に対する支給、または備品費用に対する支給などが考えられます。給与コンポーネントには、時間給、固定額、基本時間給への追加支給などを設定できます。

報酬管理では、以下の処理を行うことができます。

- 従業員の固定的賃金の比率を割り出し、給与コンポーネントとして使用
- 給与点数を使って従業員の給与を計算
- 各従業員別に独自の給与パッケージを作成

---

### 報酬管理のビジネス プロセス

報酬管理には、以下のビジネス プロセスが用意されています。

- 給与レートの定義とルール ベースのコンポーネント デフォルト設定

職務コードおよび給与ステップ コード以外のフィールド値に基づいて従業員の給与パッケージを自動的に更新する、柔軟なデフォルト ルールを設定します。

- 年功給の管理

従業員の給与の各ページで年功給レート コードを追加および更新します。年功給レート コードにより、年功手当の支給が可能となります。

- 従業員給与情報のリフレッシュ

システムの現在値に基づいて従業員給与パッケージを更新し、手動による変更を新しいデフォルト値に置き換えます。

- 市場給与の利用

市場給与データを取得し、職務の報酬形態の決定、あるいは市場価格決定のビジネス プロセスに利用します。

以上のビジネス プロセスについては、この PeopleBook のビジネス プロセスの章で説明します。

### 関連項目:

PeopleSoft Enterprise HRMS 9.0 アプリケーションの基礎 PeopleBook、「市場給与の設定とその使い方」

## 報酬管理の統合

PeopleSoft Enterprise ヒューマン リソース管理は、PeopleSoft Enterprise HRMS の全てのアプリケーション、その他の PeopleSoft アプリケーション、およびサード パーティのアプリケーションと統合できます。

PeopleSoft Enterprise ヒューマン リソース管理の共有テーブルは、PeopleSoft Enterprise HRMS のさまざまなアプリケーションで使用可能です。また、多くの PeopleSoft Enterprise ヒューマン リソース管理テーブルのデータは、パブリッシュされたメッセージをサブスクライブするように設定されていれば、どの PeopleSoft アプリケーションでも利用可能です。

報酬管理ビジネス プロセスは、以下の PeopleSoft Enterprise HRMS アプリケーションと統合できます。

- PeopleSoft Enterprise ヒューマン リソース管理の人事・労務管理
- PeopleSoft Enterprise ヒューマン リソース管理の基本報酬管理と予算計画
- PeopleSoft Enterprise ヒューマン リソース管理のポジション管理

この PeopleBook では、統合に関する注意事項を説明します。

## 報酬管理の導入

また、報酬管理には、既存システムから報酬管理のテーブルヘデータをロードするコンポーネント インターフェイスも用意されています。テーブルにデータをロードするには、Excel to Component Interface ユーティリティを使用します。

以下の表は、設定コンポーネント インターフェイスが用意されているコンポーネントの一覧です。

コンポーネント	コンポーネント インターフェイス	参照情報
COMP_RATECD_TBL	CI_COMP_RATECD_TBL	参照: 第 2 章、「報酬管理の設定」、 「給与レートコードの設定」、6 ページ

コンポーネント	コンポーネント インターフェイス	参照情報
JOB_CODE_TBL	CI_JOB_CODE_TBL	参照: PeopleSoft Enterprise HRMS 9.0 アプリケーションの基礎 PeopleBook、「職務の設定」、「補助職種コードと職種コードの定義」
SALARY_GRADE_TBL	SALARY_GRADE_TBL	参照: PeopleSoft Enterprise ヒューマンリソース管理 9.0 PeopleBook: 基本報酬管理と予算計画、「基本報酬管理と予算計画の設定」、「給与プラン、給与等級および給与ステップの設定」

## その他の情報ソース

導入プランの設定段階では、導入ガイド、データ モデル、ビジネス プロセス マップ、トラブル シューティング ガイドラインなど、PeopleSoft 内にある全ての情報を活用してください。

## 関連項目:

PeopleSoft Enterprise HRMS 9.0 アプリケーションの基礎 PeopleBook、「PeopleSoft Enterprise HRMS アプリケーションの基礎 - まえがき」

Enterprise PeopleTools PeopleBook: PeopleSoft Component Interfaces

Enterprise PeopleTools PeopleBook: PeopleSoft Setup Manager



## 第 2 章

# 報酬管理の設定

この章では、報酬管理の概要および以下の作業を行う方法について説明します。

- 給与レート コードの設定
- 給与レート コード グループの定義

---

## 報酬管理について

以下の概要では、2 つ目のステップである給与レート コードの定義が必須です。それ以外の手順は必須ではありませんが、給与レート コードを利用する上で重要な役割を持っています。

報酬を管理するには、次の手順に従います。

1. 給与レート コード クラス ページで給与レート コード クラスを定義します。
2. 給与レート コード ページで給与レート コードを定義します。
3. レート コード グループ ページで給与レート コード グループを定義し、システム内で給与レート コード グループを使えるようにします。
4. 給与等級コンポーネントのステップ コンポーネント ページで、給与レート コードと給与ステップを関連付けます。
5. 給与レート コード デフォルト ルール コンポーネントを使って、特別な給与レート コードのデフォルト ルールを定義します。
6. 給与レート コードを職務コード、ポジション、および職務レコードに関連付けます。
7. 給与点数を使用して従業員の給与を計算します。
  - a. インストールテーブルコンポーネントの HRMS オプション ページにある [給与点数使用] チェックボックスをオンにします。
  - b. 会社テーブルコンポーネントのデフォルト設定ページで給与点数の金額を設定します。
  - c. 以下のページで、点数値 (整数) を給与レートコードに関連付けます。
    - 給与等級コンポーネントのステップ コンポーネント ページ
    - 職務コードテーブルコンポーネントのデフォルト給与ページおよび固定的賃金外ページ
    - 職務データコンポーネントの給与データページ

**関連項目:**

PeopleSoft Enterprise HRMS 9.0 アプリケーションの基礎 PeopleBook、「職務の設定」

PeopleSoft Enterprise ヒューマン リソース管理 9.0 PeopleBook: 基本報酬管理と予算計画、「基本報酬管理と予算計画の設定」

PeopleSoft Enterprise ヒューマン リソース管理 9.0 PeopleBook: ポジション管理、「ポジションの設定」

## 給与レート コードの設定

給与レート コードの設定には、給与レート コード クラス テーブル コンポーネント (RATECD\_CLASS\_TBL)、および給与レート コード テーブル コンポーネント (COMP\_RATECD\_TBL) を使用します。コンポーネント インターフェイス CLCOMP\_RATECD\_TBL を使用して、このコンポーネント インターフェイスのテーブルにデータをロードします。

このセクションでは、年功給レート コード作成の概要、給与レート コードの設定に使用するページ、および以下の方法について説明します。

- 給与レート コード クラスの作成
- 給与レート コードの定義
- 年功給レート コードと昇給の関連付け
- 給与レート コードに関連付けられたデフォルト ルールの表示

**注:** 給与レート コード クラスを給与レート コードに割り当てる場合、まず給与レート コード クラスを定義してから給与レート コードを作成する必要があります。

## 給与レート コードの設定に使用するページ

ページ名	オブジェクト名	ナビゲーション	用途
給与レートコードクラス、	RATECD_CLASS_TBL	[HRMS 基本設定]、[基本テーブル]、[報酬ルール設定]、[給与レートコードクラステーブル]	給与レートコードクラスを作成します。
給与レートコード	COMP_RATECD_TBL	[HRMS 基本設定]、[基本テーブル]、[報酬ルール設定]、[給与レートコードテーブル]	給与レートコードを定義します。
給与レートコードテーブル - 年功給	SENIORITY_PAY	[HRMS 基本設定]、[基本テーブル]、[報酬ルール設定]、[給与レートコードテーブル]	年功給レートコードを以下の項目と関連付けます。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• 昇給レベル</li> <li>• グループビルドで定義した1つ以上のグループ</li> </ul>
給与レートコードテーブル - ユーザー定義ルール	COMP_RATECD_RULES	[HRMS 基本設定]、[基本テーブル]、[報酬ルール設定]、[給与レートコードテーブル]	給与レートコードに割り当てられたデフォルトルールを表示します。

## 給与レート コード クラスの作成

給与レート コード クラス ページにアクセスします。

**給与レート コード クラス**

給与レート コード クラス: SENPAY

**レート コード クラス情報**

検索 | 全件表示 | 最初 1/1 最後

\*有効日: 1900/01/01 31

\*ステータス: アクティブ

\*名称: 年功給レートコード

略称: 年功レート

給与レート コード クラス ページ

給与レート コードは給与レート コード クラスに関連付けることができます。これらのクラスは、システム全体を通して、給与レート コードの検索ページで検索条件として使用されます。このページで給与レート コード クラスを作成した後、給与レート コード ページでそれらを給与レート コードに割り当てます。

あらかじめ定義されている給与レート コード クラス SENPAY を使用すると、従業員の年功給管理に使用する給与レート コードをグループ化できます。

## 給与レート コードの定義

給与レート コード ページにアクセスします。

給与レートコード

年功給

ユーザー定義ルール

給与レートコード:

HXLMS1

給与レートコード情報

検索

全件表示

最初

1/1

最後

\*有効日:

1900/01/01

31

\*ステータス:

アクティブ

+

-

\*名称:

Base Salary

略称:

Base Salar

☒ 固定的金

☐ 最高レートを使用

☒ FTE 適用

☐ デフォルト値上書き不可

\*給与レートコードタイプ:

固定額

給与レートコードクラス:

BASSAL

基本給与エレメント

\*計算方法:

レートマトリックス

レートマトリックス名:

給与レート:

1,000.00

給与比率:

0.000

通貨:

FRF

周期:

M

月次

支給コード:

▼ オーストラリア

給与パッケージ

給与パッケージによる管理のみ ☐

給与レートコード ページ

## [最高レートを使用]

この給与レートコードに対して設定されている最高の給与レートを使用するには、このチェック ボックスをオンにします。従業員が一時的に、より高額な給与が支払われる別の職務に配置される場合に、このオプションを使用します。このフィールドが、ヒューマン リソース管理の処理に影響を及ぼすことはありません。

Payroll for North America の場合は、職務レベルで給与レートコードを割り当てる際に、給与レートコード テーブルで定義されているレートとは異なる給与レートを入力できます。このチェック ボックスをオフにすると、この給与レートは職務レベルで指定した給与レートに上書きされます。

## [FTE 適用] (常勤換算の適用)

給与レートコードを FTE の一部として計算する場合に、このチェック ボックスをオンにします。FTE とは、従業員が担当業務に従事する標準の勤務時間を、常勤勤務時間に対するパーセント値で表したものです。常勤勤務時間は、給与プラン テーブル ページの [標準勤務時間] フィールドおよび [勤務周期] フィールドで定義します。また、「インストール テーブル」の HRMS オプション ページの [デフォルト標準勤務時間] フィールドおよび [勤務周期] フィールドでも定義できます。

Payroll for North America の場合は、このチェック ボックスをオンにすると、固定的金の給与レートの計算に当該職務の FTE 値が含まれます。給与レートコード タイプが [固定額] または [時間給] の場合のみ、このチェック ボックスをオンにすることができます。このチェック ボックスは固定的金外の給与には適用されないため、[固定的金] チェック ボックスをオフにしている場合には入力できません。



**[デフォルト値上書き不可]**

この給与レートコードに割り当てられた従業員の給与レートを、職務データコンポーネントの給与データページで手動更新できないようにする場合に、このチェックボックスをオンにします。年功給与レートコードを定義する場合は、このチェックボックスをオンにする必要があります。

**注:** 給与プランテーブルでプレミアム吸収型として使用されている給与レートコードに対して、その給与レートコードを従業員の給与パッケージに追加した後にこのチェックボックスをオフにすることはお勧めしません。

**[給与レートコードタイプ]**

給与レートのタイプを選択します。選択するタイプによって、入力可能になるフィールドが異なります。有効値は、次のとおりです。

- [固定額]: 固定（または一定）の金額。
- [時間給 + 固定額]: 従業員のタイムシートで指定されている時間給に追加して固定額が支給されます。[給与レート] フィールドに固定額を入力します。固定的賃金の給与コンポーネントにこのタイプを指定することはできません。
- [時間給]: 時間単位の給与レート。
- [パーセント]: 給与定義に使われるパーセント値。
- [点数]: このタイプの給与レートコードでは、給与は通貨の代わりに給与点数で付与されます。点数に適用する金額の値は、会社テーブルコンポーネントのページで設定します。

**注:** 給与点数を使用するには、「インストール テーブル」の HRMS オプション ページで [給与点数使用] チェックボックスをオンにします。

参照: PeopleSoft Enterprise HRMS 9.0 アプリケーションの基礎 PeopleBook、「PeopleSoft Enterprise HRMS の設定とインストール」、「導入デフォルトの設定」

**[給与レートコードクラス]**

給与レートコードクラスを選択して、給与レートコードに関連付けます。以下の値から選択します。

- BASSAL (基本給与エレメント): 給与予測に使用します。
- DFRPAY (定義範囲レートコード): 給与プランで定められた給与等級範囲に基づく給与コンポーネントに使用します。
- REGBON (規定賞与): 給与予測に使用します。
- SENPAY (年功給与レートコード): このクラスを選択すると、年功給与コンポーネントの作成、昇給レベルへの関連付け、および年功給与ステータスの変更に応じた更新を行うことができます。

**注:** 給与レートコードクラスを追加作成した場合には、前述の既定値から選択することも、あるいは作成した値から選択することもできます。

**[計算方法]**

値を選択して、この給与レートコードのレートを算出する方法を指定します。有効値は、次のとおりです。

- [なし]: 給与レートコードテーブルのレートをそのまま使用します。  
現在の機能を使って計算を行います。

- [レート マトリックス]: 給与レート コードに関連付けられているレート マトリックスから動的に給与レート値が導き出されます。

複数の判定基準を備えたレート マトリックスもあり、その場合には使用する給与レートが変わることもあります。

---

**注:** [なし] と [レート マトリックス] を切り替える際、新たに有効日付きの行を追加する必要はありません。

---

#### [レート マトリックス名]

使用するレート マトリックスを具体的に指定します。

このフィールドは、[計算方法] フィールドで [レート マトリックス] が選択されている場合のみ入力可能です。

---

**重要:** 計算結果が給与レート コードの定義に準拠しているレート マトリックスのみ選択することができます。たとえば、給与レート コードに固定額（通貨額で表される）の給与レート コード タイプが設定されている場合、レート マトリックスの計算結果は金額でなければなりません。結果がパーセント値や文字列で示されるレート マトリックスは使用できません。

---

参照: PeopleSoft Enterprise ヒューマン リソース管理 9.0 PeopleBook: 基本報酬管理と予算計画、「条件指定マトリックスの使い方」

#### [給与比率]

従業員の新しい給与レートを算出する場合に、全ての固定的賃金コンポーネントまたは 1 つの給与レート コード グループに適用するパーセント値を入力します。

#### [給与レート]

この給与レート コードに対する標準の給与レートを入力します。

このフィールドは、[計算方法] フィールドで [なし] が選択されている場合のみ入力可能です。

#### [通貨]

[計算方法] フィールドに関連して得られる値の通貨を入力します。

#### [周期]

給与の周期を選択します。給与レート コード タイプに [固定額] を選択している場合は、“H”（時間毎）は選択できません。給与レート コード タイプが [時間給] または [時間給 + 固定額] の場合は、“H”（時間毎）を選択する必要があります。

#### [支給コード]

PeopleSoft Enterprise Payroll for North America を使用していて、ここに固定的賃金外の給与レート コードを入力した場合は、ペイシートで給与レート コードを選択したときに、その支給コードが自動入力されます。

### (AUS) [オーストラリア]

PeopleSoft Enterprise Salary Packaging for Australia を導入している場合は、このページを使用して従業員をグループ化するために使用する給与レート コードの定義と確認を行います。給与レート コードは、給与コンポーネントに対する ID で、給与パッケージ システム全体で一貫して使用されます。

給与パッケージ コンポーネントやその他のコンポーネントを定義する際、それらを給与レート コードにリンクさせることで、費用を該当するコンポーネントに簡単に入力できるようになります。給与レート コードを給与パッケージ コンポーネントなどとリンクさせる場合、パッケージ コンポーネントごと、またはその他のコンポーネント（費用給与計算タイプのコンポーネント）ごとに一意の給与レート コードを指定する必要があります。これにより、パッケージ費用の照合が可能となります。

#### [給与パッケージによる管理のみ]

給与パッケージ コンポーネントと給与レート コードをリンクさせるには、このチェック ボックスをオンにします。

このチェック ボックスをオンにすると、従業員の給与レート コードに手動で変更が加えられた場合に警告メッセージが表示されます。

従業員の職務レコードのその他の情報と共にこのチェック ボックスを使うことにより、給与パッケージの一貫性を保つことができます。

## 給与レート コードの使用例

従業員にマトリックス ベースの給与レート コードを割り当てると、レート マトリックスの判定が最初に 1 度だけ行われ、その給与レート コードに対する給与レートが決定します。これは、給与レート コード管理の現行ルールに従っています。時間の経過と共に、従業員情報が変わり、マトリックスから別のレートを割り当てる必要が生じるかもしれません。しかしながら、給与レートは自動的に更新されません。給与レートを自動的に再判定する唯一の手段は、既存のバッチ処理 (CMPnnn) の実行です。通常、これらのバッチ処理のほとんどは、給与データ ページで [デフォルト給与コンポーネント] ボタンおよび [報酬計算] ボタンをクリックして実行する処理と同じです。手動でレート マトリックス ベースの給与レート コードを追加した際に [デフォルト値上書き不可] チェック ボックスがオンになっていないと、この給与レート コードは前述のボタン操作あるいは他のいかなる処理によってもリフレッシュされません。更新が必要な場合は手動で行う必要があります。

## 関連項目:

PeopleSoft Enterprise Human Resources 9.0 PeopleBook: Administer Salary Packaging for Australia

## 年功給与レート コードの作成

年功給を管理するには、年功給与レート コードを作成する必要があります。

年功給与レート コードを作成するには、次の手順に従います。

1. 給与レート コードに定義済みの年功給与レート コード クラス SENPAY を割り当てます。
2. その給与レート コードに年功給の昇給レベルを割り当てます。
3. (省略可) 給与レート コードに、グループ ビルド機能を使用して定義した 1 つ以上のグループを割り当てることができます。

---

**重要:** 年功給与レート コードに条件指定レート マトリックスを割り当ててすることはできません。

---

## 年功給与レート コードと昇給との関連付け

“給与レート コード テーブル” の年功給ページにアクセスします。

給与レートコード

年功給

ユーザー定義ルール

給与レートコード

HXLMS1

年功給情報

検索 | 全件表示

最初

1/1

最後

有効日:

1900/01/01

年功起算日:

☐採用日

☐配属開始日

☐生年月日

☐関連業務開始日

▼ 日本

年功起算日:

☐学齢生年月日

年功給グループ

検索 | 全件表示

最初

1/1

最後

\*グループ ID:

年功給給与

カスタマイズ | 検索 | 全件表示

最初

1/1

最後

	*年功レベル	最小限度年数	最小限度月数	給与レート	通貨	周期
1						

“給与レートコード テーブル” - 年功給ページ

- [年功起算日]

年功の基準となる起算日を選択します。有効値は、次のとおりです。

• [採用日]

• [配属開始日]: 配属開始日は、従業員が企業グループ内の特定の会社に勤続している期間を追跡するのに役立ちます。

デフォルトの日付は採用日ですが、上書きすることができます。

• [生年月日]

• [関連業務開始日]: 従業員が、現在のポジションに直接関連した技能を要求される業務を開始した日付です。
- (JPN) [日本]
- [学齢生年月日]

学齢を使用して年功給を計算する場合に、このチェック ボックスをオンにします。日本の企業では年功給の支給にこの方法を用いるのが一般的です。
- [年功給グループ]
- [グループ ID]

1 つ以上のグループ ID を入力して、この年功給レート コードを、グループ ビルド ビジネス プロセスで定義したグループに関連付けます。入力した ID が既に他の年功給レート コードに関連付けられている場合は、警告メッセージが表示されます。このフィールドからカーソルを移動すると、グループ ID の名称が表示されます。

注: グループ ID を入力しないと、年功給レート コードが全従業員の給与パッケージに関連付けられます。

## [年功給給与]

### [年功レベル]

年功のレベルを入力します。

### [最小限度年数]、[最小限度月数]

この年功レベルに到達するまでに最低限必要な勤務年数および月数を入力します。最少限度年数と最少限度月数の両方が入力されている場合は、入力された年数と月数の合計が年功給計算に使用されます。

### [給与レート]

このオプションは、給与レート コード タイプに [固定額]、[時間給]、または [時間給 + 固定額] を選択した場合に表示されます。この年功レベルに関連付ける給与レートを入力します。

### [給与比率]

このオプションは、給与レート コード タイプに [パーセント] を選択した場合に表示されます。この年功レベルに関連付ける給与のパーセント値を入力します。

### [給与点数]

このオプションは、給与レート コード タイプに [点数] を選択した場合に表示されます。この年功レベルに関連付ける給与点数を入力します。

## 給与レート コードに関連付けられたデフォルト ルールの表示

“給与レート コード テーブル” のユーザー定義ルール ページにアクセスします。

“給与レートコード テーブル” - ユーザー定義ルール ページ

このページには、この給与レート コードを使用するユーザー定義のデフォルト ルールが表示されます。

### [デフォルト ルールの編集]

このリンクをクリックして、“給与レート コード デフォルト ルール” の 給与レート コード ページにアクセスし、デフォルト ルールの情報を編集します。

### [値] タブ

[値] タブにアクセスします。

この給与レートコードを使用するユーザー定義デフォルト ルール				
ルール		値		
デフォルト ルール	給与レート	通貨	周期	FTE 適用
				<input type="checkbox"/>

ユーザー定義ルール - 値

このタブ ページには、デフォルト ルールで定義された給与レート、通貨、および周期が表示されます。

注: このタブ ページに表示されるのは、ユーザー定義のデフォルト ルールのみです。給与ステップや職務コードのデフォルト ルールは表示されません。

## 給与レート コード グループの定義

給与レートコードグループの定義には、給与レートコードグループコンポーネント (RATE\_CODE\_GROUPS) を使用します。

このセクションでは、給与レートコードグループの概要と、給与レートコードグループの作成方法について説明します。

### 給与レート コード グループについて

給与レートコードの定義が完了したら、任意で給与レートコードグループを設定することができます。給与レートコードグループを使用すると、以下の処理が可能です。

- 従業員の給与パッケージの一部としてパーセント ベースの給与コンポーネントを計算する際に、詳細を指定できます。  
たとえば、従業員の基本給与パッケージが、固定的賃金、生活手当、育児手当、および通勤交通費などのコンポーネントから成り立っている場合などには便利です。
- 従業員の給与パッケージ全体ではなく、その一部のコンポーネントを基準にして賞与金額を決定することができます。  
従業員の給与にパーセント ベースの賞与が含まれている場合に利用すると便利です。
- システムでの計算に使用したい固定的賃金コンポーネントだけを、その他の給与コンポーネントを除外して、グループ化できます。

注: 給与レートコードグループを使用するには、インストール テーブル コンポーネントの HRMS オプション ページで [レートコードグループの使用] チェック ボックスをオンにしておく必要があります。

### パーセントと給与レート コード グループについて

給与レートコードグループにパーセント タイプの給与レートコードを関連付けることができます。この関連付けをすると、そのパーセント値が給与レートコードグループ内の全ての給与レートに適用され、その合計が従業員の給与パッケージに追加されます。給与レートコードグループを使用しない場合には、従業員の基本給与パッケージ全体を使ってパーセント値のレートを計算できます。

従業員の昇給を行う場合に、固定的賃金の額に給与レートコードグループで定義されている昇給率を適用して昇給が計算されるよう指定できます。昇給額は、基本給与レートグループに関連付けられたさまざまな給与レートを基に計算されます。

以下のページで、給与レートコード グループをパーセント タイプの給与レートコードと関連付けることができます。

- “給与等級” のステップ コンポーネント ページ。給与ステップで関連付けを行います。
- “職務コード テーブル” のデフォルト給与ページおよび固定的賃金外ページ。職務コードに対して関連付けを行います。
- “職務データ” の給与データ ページ。従業員レベルで関連付けを行います。

## 給与レートコード グループの作成に使用するページ

ページ名	オブジェクト名	ナビゲーション	用途
レートコードグループ	COMPRT_GRP_PNL	[HRMS 基本設定]、[基本テーブル]、[報酬ルール設定]、[給与レートコードグループ]	給与レートコードグループを作成します。





## 第 3 章

# 給与レートの定義とルール ベースのコンポーネント デフォルト設定

この章では、ルール ベースの給与コンポーネント デフォルト設定の概要と、以下の方法について説明します。

- 従業員の給与レートの定義
- ルール ベースのコンポーネント デフォルト設定の定義

---

## ルール ベースのコンポーネント デフォルト設定について

このセクションでは、ルール ベースのコンポーネント デフォルト設定について説明します。

ルール ベースのコンポーネント デフォルト設定を使用して、柔軟性のある給与レート コードのデフォルトルールを作成できます。この機能を使うと、使用するデフォルト値をフィールド値などの特定条件に基づいて指定することが可能です。たとえば、勤務地を基準に従業員の給与を設定することができます。

コンポーネント デフォルト ルールを設定するには、次の手順に従います。

1. デフォルト オプション ページで、組織の給与に影響する職務データ フィールドの中から、給与コンポーネント デフォルト ルールで使用したいフィールドを選択します。
2. 給与レート コード デフォルト ルール コンポーネントで、従業員の給与パッケージで給与レート コードに変更をもたらすフィールド値を指定して、給与コンポーネント デフォルト ルールを定義します。

たとえば、デフォルト給与額の基準が従業員の給与プランおよび勤務地であるルールを設定するとします。その場合には、次の手順に従います。

1. デフォルト オプション ページで、勤務地フィールドと給与プラン フィールドを選択します。
2. 給与レート コード デフォルト ルール コンポーネントで以下の作業を行います。
  - a. ルールを定義します。
  - b. 給与コンポーネントデフォルト設定のトリガとなる勤務地と給与プランの値を指定します。
  - c. 適用する新規の給与レートコードを指定します。
  - d. ルールを保存します。
3. ステータスをアクティブに設定すると、その時点でコンポーネント デフォルト設定は有効になります。
4. 職務データ コンポーネントで、対象の従業員を検索し、[デフォルト給与コンポーネント] ボタンをクリックします。

当該従業員の給与レコードに新たな給与コンポーネントを追加したり、あるいは既存の給与コンポーネントの値をデフォルト値に更新する際に、このデフォルト ルールが使用されます。

**注:** コンポーネント デフォルト設定が有効になっているので、給与プランや勤務地などの従業員の職務データが変更されると、常にこれらのルールが適用されます。

また、従業員給与データのリフレッシュ プロセスを使用して、定義された従業員グループの給与パッケージにデフォルト値を設定することもできます。このコンポーネント デフォルト設定プロセスを起動すると、デフォルト ルールに設定された条件を満たす全従業員の給与レコードが更新されます。

ルール ベースのコンポーネント デフォルト設定の利用は任意です。通常の場合であれば、職務コードと給与ステップ コンポーネントのデフォルト設定機能で十分です。給与レート コード デフォルト ルール コンポーネントでは、職務コード、あるいは給与ステップの給与レート コード ソースで定義された給与レート コード デフォルト ルールを参照することもできます。ただし、これらの編集には、職務コード コンポーネントと給与等級コンポーネントを使用する必要があります。

## 従業員の給与レートの定義

コンポーネント インターフェイス CI\_JOB\_CODE\_TBL および SALARY\_GRADE\_TBL を使用して、これらのコンポーネント インターフェイスのテーブルにデータをロードします。

給与レート コード (および給与レート コード クラスや給与レート コード グループなどのオプション カテゴリ) の定義が完了したら、従業員の給与レートを定義できます。従業員給与の定義については、PeopleSoft HRMS の各 PeopleBook の以下の表に示すページに関する箇所で詳しく説明されています。

### 給与レートの定義手順の概要

給与レート コードと関連付ける対象	参照先
給与ステップ	“給与等級” – ステップコンポーネントページ
職務コード	“職務コードテーブル” – デフォルト給与ページおよび固定的賃金外ページ
ポジション (ポジションに割り当てた職務コードを使用)	“ポジション データ” – ポジション情報ページ
従業員レコード	“職務データ” – 給与データ ページ

### 関連項目:

PeopleSoft Enterprise HRMS 9.0 アプリケーションの基礎 PeopleBook: 「職務の設定」、「職務コードへの給与プラン情報と固定的賃金の給与レート コードの関連付け」

PeopleSoft Enterprise ヒューマン リソース管理 9.0 PeopleBook: ポジション管理、「ポジションの設定」、「ポジションの作成」

PeopleSoft Enterprise ヒューマン リソース管理 9.0 PeopleBook: 人事・労務管理、「雇用データの追加」

## ルール ベースのコンポーネント デフォルト設定の定義

このセクションでは、ルール ベースのコンポーネント デフォルト設定を定義するのに使用するページを示し、以下の方法について説明します。

- コンポーネント デフォルト ルールを定義する際に使用するフィールドの指定
- コンポーネント デフォルト ルールのヘッダー情報の定義
- コンポーネント デフォルト ルールの条件作成
- コンポーネント デフォルト ルール条件への値の割り当て
- コンポーネント デフォルト ルールへの給与レート コードの割り当て

## ルール ベースのコンポーネント デフォルト設定の定義に使用するページ

ページ名	オブジェクト名	ナビゲーション	用途
デフォルト オプション	CMP_DFLT_OPTIONS	[HRMS 基本設定]、[基本テーブル]、[報酬ルール設定]、[給与レートコード デフォルトオプション]	職務レコードのどのフィールドがコンポーネント デフォルト ルールに使用できるかを指定します。
定義	CMP_RULE_DEFN	[HRMS 基本設定]、[基本テーブル]、[報酬ルール設定]、[給与レートコード デフォルトルール]	コンポーネント デフォルト ルールのヘッダー情報を定義します。
条件	CMP_RULE_CRITERIA	[HRMS 基本設定]、[基本テーブル]、[報酬ルール設定]、[給与レートコード デフォルトルール]、[条件]	コンポーネント デフォルト ルールの条件を作成、および変更します。
値	CMP_RULE_VALUES	[HRMS 基本設定]、[基本テーブル]、[報酬ルール設定]、[給与レートコード デフォルトルール]、[値]	条件ページで選択したフィールドや演算子が作用する値を指定します。
給与レートコード	CMP_RULE_RATECD	[HRMS 基本設定]、[基本テーブル]、[報酬ルール設定]、[給与レートコード デフォルトルール]、[給与レートコード]	給与レートコードをコンポーネント デフォルト ルールに割り当てます。
レートコード	WCS_RTCD_DETAILS	給与レートコード ページの [詳細] リンクをクリックします。	この給与レートコードに関する追加情報が表示されます。

## コンポーネント デフォルト ルールを定義する際に使用するフィールドの指定

デフォルト オプション ページにアクセスします。

デフォルト オプション

レコード:JOB従業員職務履歴

デフォルト ルール オプション

検索 | 全件表示最初1/15最後

\*フィールド名:BUSINESS\_UNIT

\*フィールド ラベル:Business Unit

編集テーブル:BUSUNIT\_HR\_VWHR Business Unit Lang Table

条件フィールド

カスタマイズ | 検索 | 最初1/1最後

	*プロンプトに必要なフィールド	*フィールド ラベル	同等のレコード フィールド		
1				+	-

デフォルト オプション ページ

[デフォルト ルール オプション]

[フィールド名]、[フィールドラベル]

コンポーネント デフォルト ルールの条件として使用可能にするフィールドを選択します。フィールドを選択すると、その名称が [フィールド ラベル] に表示されます。この名称は変更できます。

[編集テーブル]

フィールドの編集テーブル、つまりフィールドのプロンプト元のテーブルを選択します。

[条件フィールド]

[プロンプトに必要なフィールド]、[フィールド ラベル]

必要に応じて、デフォルト ルールのフィールドを入力するために表示されるフィールドを選択します。[プロンプトに必要なフィールド] でフィールドを選択した場合は、値ページでその値を選択する必要があります。

たとえば、デフォルト ルール フィールドが部門である場合は、SETID を選択します（部門を選択する前に部門のセットID を選択する必要があります）。[プロンプトに必要なフィールド] で値を選択すると、[フィールド ラベル] フィールドと [同等のレコード フィールド] フィールドに対応する値が表示されます。次に値ページにアクセスし、セットID に基づいて部門の値を選択する必要があります。

[同等のレコード フィールド]

[プロンプトに必要なフィールド] で選択した値と同等のレコード フィールドを選択します。たとえば、SETID と同等のレコード フィールドは SETID\_DEPT です。

[プロンプトに必要なフィールド] と同等のレコード フィールドの値が同じ場合、あるいは同等のレコード フィールドがない場合もあります。同等のフィールドがない場合、このフィールドは空欄のままにしておきます。

## コンポーネント デフォルト ルールの定義

定義ページにアクセスします。

定義 | 条件 | 値 | 給与レートコード

デフォルト ルール: KOG002

デフォルト ルール定義 検索 | 全件表示 最初 1/1 最後

\*有効日: 1980/01/01 31

\*ステータス: アクティブ

\*ルール名: Marketing Department Bonus

略称: Marketing Dept Bonus

レートコード ソース: ユーザー定義ルール

定義ページ

コンポーネント デフォルト ルールの名称を入力します。このコンポーネントで直接作成される全てのデフォルト ルールのレートコード ソースは、“ユーザー定義ルール” になります。“職務コード” や “給与ステップ” などその他のレートコード ソースを持つデフォルト ルールを表示することも可能です。こうしたルールは、該当するページでデフォルト給与コンポーネントを設定すると、自動的に作成されます。

## コンポーネント デフォルト ルール条件の作成

条件ページにアクセスします。

定義

条件

値

給与レートコード

デフォルト ルール: KOG002

デフォルト ルール定義

検索 | 全件表示

最初 1/1 最後

有効日: 1980/01/01

ステータス: アクティブ

レートコード ソース: ユーザー定義ルール

デフォルト ルール条件

検索 | 全件表示

最初 1/1 最後

\*レコード: JOB

従業員職務履歴

\*フィールド名: DEPTID

Department

編集テーブル: DEPT\_TBL

部門

\*SQL 演算子: =

条件ページ

- [レコード]、[フィールド名]、[編集テーブル]

このルールのトリガとなる値を持つレコードとフィールドを選択します。選択したフィールドの編集テーブルが自動的に表示されます。
- [SQL 演算子]

このルールと値ページで選択したフィールド値の関係を定義する SQL 演算子を選択します。たとえば、値ページで指定したフィールド値を持つ従業員にだけこのルールを適用する場合には、[=] を選択します。

値とコンポーネント デフォルト ルール条件との関連付け

値ページにアクセスします。

定義

条件

値

給与レートコード

デフォルト ルール:

KOG002

デフォルト ルール定義

検索 | 全件表示

最初 1/1 最後

有効日:

1980/01/01

ステータス:

アクティブ

レート コード ソース:

ユーザー定義ルール

デフォルト ルール条件

検索 | 全件表示

最初 1/1 最後

レポート:

フィールド名:

JOB

DEPTID

=

値

カスタマイズ | 検索 |

最初 1/1 最後

連番	SetID	値
1	SHARE	25000

値 ページ

**プロンプト フィールド、[値]**  
(上に示したページ例では、  
プロンプト フィールドは  
[SetID] になっています)

[値] フィールドにプロンプト値を入力する必要がある場合 (つまり、デフォルト オプション ページで [プロンプトに必要なフィールド] を指定している場合) には、ここで適切なプロンプト値を選択します。たとえば、プロンプト フィールドで部門のセットID を選択し、次に [値] フィールドで部門を選択します。この場合はまず、デフォルト オプション ページで、フィールド名に "DEPTID" を、またプロンプトに必要なフィールドとして "SETID" を選択しておく必要があります。

## コンポーネント デフォルト ルールへの給与レート コードの割り当て

給与レート コード ページにアクセスします。

定義

条件

値

給与レートコード

デフォルト ルール:

KOG002

デフォルト ルール定義

検索 | 全件表示

最初 1/1 最後

有効日:

1980/01/01

ステータス:

アクティブ

レート コード ソース:

ユーザー定義ルール

デフォルト ルール給与レート コード

カスタマイズ | 検索 |

最初 1/1 最後

給与レートコード	連番	詳細	給与レート	通貨	周期	アシセット	レートコードグループ	給与点数	FTE 適用
KOGNUA		詳細	1,800.00	USD	A				<input type="checkbox"/>

給与レート コード ページ

**[給与レート コード]**

このデフォルト ルールでデフォルトとして使う給与レート コードを選択します。

**[詳細]**

このリンクをクリックしてレート コード ページにアクセスし、給与レート コードに関する追加情報を表示します。給与レート コードにレート マトリックス

**[給与レート]**

が関連付けられている場合は、このページからマトリックスを表示することができます。

このデフォルト給与レート コード ルールに対する給与レートを入力します。

給与レート コード タイプが [固定額]、[時間給]、あるいは [時間給 + 固定額] の場合に、この給与レート コードに対する給与レートを入力します。

---

**注:** レート マトリックスと関連付けられた給与レート コードを使用する場合には、このフィールドには入力できません。その場合、給与レートは、レート マトリックスに基づいて動的に決定され、このデフォルト ルールが起動されると従業員の職務給与レコードで直接更新されます。

---



## 第 4 章

# 報酬管理における賃金引上機能の使い方

この章では、賃金引上機能の概要と、報酬管理で賃金引上を設定および使用方法について説明します。

---

## 賃金引上と報酬管理について

新規従業員に対して勤続期間の経過、あるいは実際の労働時間に準じて昇給を行う製造業や小売業では、自動的ステップ昇給が一般的な慣習となっています。実際の労働時間の定義は、労働協約の内容により異なります。昇給の計算方式も協約によってさまざまです。

賃金引上機能を使うと、昇給の条件やステップ計算を集約した賃金引上ルールを定義することができます。また、等級給与レンジを反映したステップ詳細を作成することもできます。バッチ処理では、従業員データが収集、および分析されます。これにより、従業員の昇給時期を決定したり、データに新しい給与ステップや給与レートを反映した職務および給与の行を適宜挿入することができます。

### 前提条件

以下に賃金引上機能を使用するための前提条件を示します。

- 従業員情報レコード管理のコア システムとして PeopleSoft Enterprise ヒューマン リソース管理を使用します。

従業員には所属組合、労働協約、および賃金引上ルールを含む給与プランが割り当てられている必要があります。

- “インストール テーブル” の HRMS オプション ページ ([HRMS 基本設定]、[インストール]、[インストール テーブル]、[HRMS オプション]) で [複数ステップ給与等級] チェック ボックスをオンにします。
- 賃金引上ルールに労働時間のデータが必要かどうかを決定します。

データが必要で、かつ PeopleSoft Enterprise Payroll for North America を使用している場合は、特別累計を該当する全ての支給コードに関連付けます。累計内の支給コードは、賃金引上ルールの時間要件と合致するように定義する必要があります。あるいは、別のシステムから時間データを取り込めるようシステム統合を行うか、または賃金引上確認ページで時間を手動で入力するという方法もあります。

---

## 報酬管理での賃金引上の設定および使い方

賃金引上を設定して使用するには、給与等級定義コンポーネント (SALARY\_GRADE\_TBL) を使います。

**重要:** 給与等級定義コンポーネントの“カテゴリのデフォルト” ページは、労働協約パラメータが適用されないため使用しません。1 つ以上の労働協約に給与プランおよび給与等級を関連付けるには、労働協約コンポーネントの職務コード ページ ([HRMS 基本設定]、[製品/業務別定義]、[人事・労務管理]、[労使関係管理]、[労働協約]、[労働協約]) を使用します。

このセクションでは、以下の手順について説明します。

- 賃金引上を含む給与プランの定義
- 賃金引上ルール of 定義
- 給与プランへの賃金引上ルールの適用

## 報酬管理における賃金引上の設定および使用に使用するページ

ページ名	オブジェクト名	ナビゲーション	用途
給与プラン テーブル	SALARY_PLAN_TABLE	<ul style="list-style-type: none"> <li>• [HRMS 基本設定]、[製品/業務別定義]、[報酬管理]、[基本報酬]、[給与プラン]</li> <li>• [報酬管理]、[基本報酬]、[給与プラン管理]、[給与プラン定義]</li> </ul>	給与プランの基本的要素を定義します。
賃金引上ルールの定義	SALARY_PLAN_TABLE2	<ul style="list-style-type: none"> <li>• [HRMS 基本設定]、[製品/業務別定義]、[報酬管理]、[基本報酬]、[給与プラン]</li> <li>• [報酬管理]、[基本報酬]、[給与プラン管理]、[給与プラン定義]</li> </ul> <p>[賃金引上プラン] チェックボックスをオンにすると、[賃金引上ルールの定義] リンクが表示されます。</p>	給与プランと関連付けられた賃金引上ルールを定義します。
ステップ コンポーネント	SALARY_GRADE_T3GBL	[報酬管理]、[基本報酬]、[給与プラン管理]、[給与等級定義]	賃金引上ルールを使って給与ステップを作成します。

## 賃金引上ルールを含む給与プランの定義

給与プラン テーブル ページにアクセスします。

給与プラン テーブル(S)	
セットID: SHARE	給与管理プラン: KUH1 <a href="#">このセットID を使用するビジネス ユニット</a>
<div>給与プラン</div> <div>検索 最初 1/1 最後</div>	
*有効日:	1980/01/01
*ステータス:	アクティブ <a href="#">行に移動</a>
*名称:	Professional Workers
略称:	Profession <input checked="" type="checkbox"/> 賃金引上プラン <a href="#">賃金引上ルールの定義</a>
*標準勤務時間:	40.00
*通貨コード:	USD  アメリカドル
デフォルト昇給マトリックス コード:	
デフォルト評価モデル:	
会社コード:	GBI  Global Business Institute 9999
<div>周期デフォルト</div> <div> <div>時間: H  時間毎</div> <div>日次: D  日次</div> <div>月次: M  月次</div> </div>	
<div>プレミアム自動計算</div> <div> <input type="checkbox"/> プレミアム自動計算           <div>             プレミアム吸収型:  </div> <div>             プレミアム維持型:  </div> </div>	
<div>添付ファイル</div> <div> <div>URL ID: </div> <div>ファイル名: <a href="#">追加</a></div> <div>詳細説明: </div> <div>追加者:</div> <div>追加日:</div> </div>	

給与プラン テーブル ページ (1/2)

▼  ドイツ	
Tariff:	
Tariff 地区:	
▼  日本	
給与プラン説明:	

給与プラン テーブル ページ (2/2)

## [給与プラン]

### [賃金引上プラン]

この給与管理プランに賃金引上ルールを関連付ける場合は、このチェックボックスをオンにします。

このページのその他のフィールドについては、『PeopleSoft Enterprise ヒューマン リソース管理 9.0 PeopleBook: 基本報酬管理と予算計画』で説明しています。

参照: PeopleSoft Enterprise ヒューマン リソース管理 9.0 PeopleBook: 基本報酬管理と予算計画、「基本報酬管理と予算計画の設定」、「給与コンポーネントと給与ステップの関連付け」

## 賃金引上ルール の定義

賃金引上ルール の定義ページにアクセスします。

セットID: SHARE      給与管理プラン: KUH1

給与プラン

有効日: 1980/01/01      ステータス: アクティブ      名称: Professional Workers

**ステップ作成ルール**

\*レート計算: 支給レートの昇給率

\*昇給タイプ: 経過週数

給与レートコード: NAHRLY      デフォルト NA 時給

休暇累計: K20      ST - Vacation + Sick Hours

**賃金引上処理ルール**

☐ 等級の上限超過を許可

☒ 等級の上限に調整

許容タイプ: 固定額

許容額: 0.050000      USD

☒ 昇給の承認必須

指定日数以内: 5

異動区分: PAY      異動理由: SPG

**賃金引上ステップ**

ステップ	ステップ名	ステップの既存時間	単位	昇給額	通貨コード	休暇時間 上限		
1	Amt Inc Elap Wks Appr Step 1	4.0000	週数		USD		+	-
2	Amt Inc Elap Wks Appr Step 2	4.0000	週数	1.000000	USD		+	-
3	Amt Inc Elap Wks Appr Step 3	4.0000	週数	0.250000	USD		+	-
4	Amt Inc Elap Wks Appr Step 4	4.0000	週数	0.250000	USD		+	-
5	Amt Inc Elap Wks Appr Step 5	4.0000	週数	0.250000	USD		+	-
6	Amt Inc Elap Wks Appr Step 6	52.0000	週数	0.250000	USD	40.00	+	-
7	Amt Inc Elap Wks Appr Step 7		週数	3.500000	USD		+	-

賃金引上ルール の定義ページ

### [ステップ生成ルール]

#### [レート計算]

レート計算の方法を選択します。これらの値は、給与等級のステップ コンポーネント ページに表示されるレートコードと値を作成する際に使用されます。有効値は、次のとおりです。

- ・ [給与等級の最高レート]: ステップ レートは、給与等級の最高レートの指定パーセント値になります。
- ・ [給与等級の最低レート]: ステップ レートは、給与等級の最低レートの指定パーセント値になります。
- ・ [支給レートの昇給率]: 従業員の前ステップの給与レートにパーセントベースの昇給が加算されます。
- ・ [支給レートの昇給額]: 従業員の前ステップの給与レートに特定の昇給額が加算されます。

注: ステップ生成プロセスでは、昇給計算用に給与等級の最低レートを基準とするステップ レート コードの値が保存されます。ただし、従業員の新しいステップ レートの計算を行う賃金引上プロセスの実行中は、昇給のパーセント値、あるいは昇給額が、賃金引上ルールで指定されたレートコードに対する従業員の実際のレートに適用されます。レート計算のタイプが給与等級の最高レート、最低レート、およびユーザー定義の場合、従業員の新しいレート値は保存された給与等級ステップ レート コードから取得されます。

- [ユーザー定義]: ステップ レートが、他のどの計算方法の条件とも合致しない場合に、この値を選択します。

ステップ コンポーネント ページでレートを手動入力する必要があります。

### [昇給タイプ]

新規採用者、あるいは新たに配属された従業員について、次の給与ステップへの昇格を判定する方法として、労働協約で規定されている方法を選択します。有効値は、次のとおりです。

- [経過月数]: 従業員にステップが割り当てられてから経過した月数を基準に昇給を行う場合に選択します。
- [経過週数]: 従業員にステップが割り当てられてから経過した週数を基準に昇給を行う場合に選択します。
- [労働時間]: 従業員の実際の労働時間に基づいて昇給を行う場合に選択します。

Payroll for North America とのインターフェイスも用意されていますが、ステージング テーブルには、他の時間ソースから抽出されたデータもロードできます。賃金引上確認ページで時間を手動入力することも可能です。

### [給与レート コード]

このレート コードは、ステップ生成中に給与等級ステップに挿入され、算出されたレートを保管します。

### [時間累計]

昇給タイプに [労働時間] を選択した場合にのみ表示されます。この賃金引上ルールに適用する労働時間を取得するには、Payroll for North America の Payroll Special Accumulator を選択します。

### [休暇累計]

(省略可) このフィールドは、昇給タイプに [経過月数] または [経過週数] を選択した場合のみ表示されます。この Payroll for North America の特別累計機能を使うと、報告された休暇時間を取得することができます。賃金引上ルールに、当該ステップで要求される経過時間の期間中に従業員が指定された休暇時間を超過していないことを確認する二次判定機能が備わっている場合のみ、この累計が必須となります。

### [賃金引上処理ルール]

#### [等級の上限超過を許可]

(省略可) このフィールドは、レート計算方法が昇給タイプ (昇給率または昇給額) の場合のみ入力可能です。従業員の新しいステップ レートが等級の上限を超過することを許可する場合に、このチェック ボックスをオンにします。

#### [等級の上限に調整]

(省略可) このフィールドは、レート計算方法が昇給タイプ (昇給率または昇給額) の場合のみ入力可能です。算出された新しい給与レートの値を、所定の許容範囲内であれば、等級の上限値に合わせて調整する場合に、このチェック ボックスをオンにします。

[許容タイプ]	<p>このフィールドは、調整ルールを適用して判定する近似単位を示します。次の値の中から 1 つ選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• [パーセント]: 許容値をパーセントで入力します。 このオプションを選択すると、[許容率 (%)] フィールドが表示されます。</li> <li>• [固定額]: 許容値を金額で入力します。 このオプションを選択すると、[許容額] フィールドが表示されます。</li> </ul>
[許容率 (%)]	調整処理に使うパーセント値を入力します。このフィールドは、[許容タイプ] フィールドで [パーセント] を選択すると表示されます。
[許容額]	調整処理に使う金額を入力します。このフィールドは、[許容タイプ] フィールドで [固定額] を選択すると表示されます。
[昇給の承認必須]	<p>(省略可) ステップ昇給の実施に先立ち承認が必要な場合に、このチェックボックスをオンにします。このチェック ボックスをオンにした場合は、ステップ昇給バッチ処理により昇給対象の従業員が検索され、ステップおよび支給情報が更新されるように、該当従業員の確認と手動での承認操作を行う必要があります。</p> <p>手動による昇給の承認は、賃金引上承認ページ ([人事・労務管理]、[労使関係]、[賃金引上]、[従業員の賃金引上承認]) で行います。</p> <p>このチェック ボックスをオンにすると、[指定日数以内] フィールドが表示されます。</p>
[指定日数以内]	賃金引上予定日以前に承認待ち従業員を表示して承認を行うには、引上予定日までの日数を入力します。賃金引上資格更新のサブプロセスで、該当従業員に対して“ほぼ資格あり”のステータスが設定されます。その後、必要に応じて、事前承認を行うことができます。これによって、時宜にかなったステップおよびレート昇給の処理が容易になり、また給与計算でも昇給を適時に認識できます。
[異動区分]	賃金引上プロセスで、新規の職務データ行が挿入される際に割り当てられる異動区分を選択します。値は異動区分ページに保存されています。
[異動理由]	異動理由ページに保存された値から、関連する異動理由コードを選択します。

---

**注:** 従業員が等級の上限レートに達したか、あるいは超過すると、職務賃金レートでも上限に達したと見なされます。この場合、従業員のステップは当該等級の最高ステップまで上げられます。従業員には賃金引上停止が設定され、それ以降は賃金引上プロセスによる処理は実行されません。

---



---

**注:** 労働時間数は支給期間増分に累積されるため、労働時間ベースのルールでは、従業員の賃金引上日が次の支給期間の開始日として指定されます。経過時間ベースのルールでは、要求される時間をステップに加算することから、賃金引上日がステップ変更日に割り当てられます。

---

## 賃金引上ステップ - “時間 - ステップ” タブ

[ステップ]	ステップ ID の数値を入力します。賃金引上ルールは、このステップ ID の順に作成されます。
[ステップ名]	このフィールドにステップの名称を入力します。このフィールドはテキスト入力が可能です。

**[ステップの残存時間]** 従業員が、次のステップへ進む前に現在のステップで勤務しなければならない時間数を入力します。

**[単位]** このフィールドは表示専用で、[昇給タイプ] フィールドの値に基づいて自動的に入力されます。

## 賃金引上ステップ - 昇給タブ

**[昇給額]** この賃金引上ルールでのレート昇給額を入力します。昇給パラメータは、選択したレート計算方法により異なります。たとえば、レート計算方法が給与等級の最高レートの場合、値はパーセント値になり、計算方法が昇給額の場合には金額になります。給与プランの通貨コードが適用されます。

## 賃金引上ステップ - 期限タブ

(省略可) 以下の期限は二次ルールで、ステップ要件の主要時間に加えて適用することができます。

**[期限]** 時間ベースのルールの場合: ステップ要件の時間と関連付けられたカレンダー期限の数値を入力します。

**[期限単位]** 期限の単位を入力します。有効な値は、[日]、[月]、[週]、および [年] です。

**[休暇時間上限]** 経過時間ベースのルールの場合: 各ステップで許可される休暇時間の最大数を入力します。

さらに、[休暇累計] フィールドで Payroll for North America の特別累計の定義および関連付けも行う必要があります。

## 給与プランへの賃金引上ルールの適用

ステップ コンポーネント ページにアクセスします。

給与等級	カテゴリのデフォルト	ステップ コンポーネント	昇格条件					
セットID: SHARE	給与プラン: KUH1 Professional Workers	GBI						
等級: 1	標準勤務時間: 40.00	給与ベース: 年次						
<b>給与等級</b> <div>検索   全件表示   最初 1/1 最後</div>								
有効日: 1980/01/01	ステータス: アクティブ	ステップの再作成	賃金引上ルール					
名称: WP Plan KUH1 Grade 1	ステップ昇給タイプ: 週数ベース	特別累計:						
<b>給与ステップ</b> <div>検索   全件表示   最初 1/1 最後</div>								
*ステップ: 1	ステップ名: Amt Inc Elap Wks Appr Step 1							
通貨: USD								
<b>給与コンポーネント</b>								
*給与レートコード	連番	詳細	給与レート	通貨	*期間	パーセント	レートコードグループ	給与点数
NAHRLY	0	詳細	21.000000	USD	H			
<b>合計</b>								
時給		日給		月給		年給		
21.000000		168.000		3,640.00		43,680.00		
▶ オーストラリア								

ステップ コンポーネント ページ

---

**重要:** ステップを作成する前に、給与等級ページの下限、中間、および上限給与レンジの範囲を含める必要があります。

---

## [給与等級]

### [特別累計]

給与プランに対して定義された賃金引上ルール of 労働時間累計を反映した時間累計の値が表示されます。Payroll for North America を使用している場合にのみ適用されます。

### [ステップの作成]、[ステップの再作成]

このボタンをクリックして、給与プランの賃金引上ルールごとに給与ステップの計算、あるいは再計算を行います。[給与ステップ] グループ ボックスの [全件表示] リンクをクリックして、作成したステップの詳細を確認します。ページを保存すると、ボタンが [ステップの再作成] に変わります。

---

**重要:** 賃金引上ルールを変更した場合は、ステップを再作成する必要があります。

---

### [賃金引上ルール]

このリンクをクリックすると、賃金引上ルールの定義ページにアクセスできます。賃金引上ルールの定義ページでは、この給与等級と関連付けられた賃金引上ルールを参照することができます。

## [給与ステップ]

賃金引上ルールで定義したレートコードに加えて、ステップでレートコードが要求される場合は、給与コンポーネント レートコードを手動で追加することができます。

### [次回ステップ昇給までの時間数]

次のステップ昇給資格を得るまでに、従業員がこのステップで勤務しなければならない時間数が表示されます。



## 第 5 章

# 年功給管理

この章では、年功給の更新プロセスの概要と、年功給の管理方法について説明します。

---

## 年功給の更新プロセスについて

多くの企業では、年功に応じた特別手当が支給されます。年功とは、従業員が企業に勤務した期間の長さです。

年功給の更新プロセスでは、従業員の給与パッケージで年功給レートコードが追加および更新されます。このプロセスによって、各従業員の給与パッケージに適切な年功給レートコードが割り当てられているかどうか判断されます。

従業員の給与パッケージに年功給レートコードが含まれている場合は、以下の手順が実行されます。

1. 従業員が次の年功レベルに到達するために必要とされる時間が経過しているかどうかを確認されます。
2. 従業員が次の年功レベルへの条件を満たしている場合には、新しい職務データ行が挿入され、新規の給与パッケージが追加されます。新規の給与パッケージには、次の年功レベルの年功給レートコードと給与額が適用されます。

従業員の給与パッケージに年功給レートコードが含まれていない場合は、以下の手順が実行されます。

1. 異動区分が給与変更で、新規の異動理由が SEN（年功給）の職務データ行が挿入されます。
2. 従業員の給与パッケージが更新され、年功給レートコードが追加されます。

---

**重要:** 年功給レートコードに条件指定マトリックスを関連付けることはできません。

---

---

## 年功給管理

年功給の管理には、“年功給の更新”コンポーネント (RUN\_CMP013)、および“年功給対象者の更新”コンポーネント (RUN\_CMP014) を使用します。

年功給を管理するには、次の手順に従います。

1. 年功給更新プロセス (CMP013) を実行して、従業員の給与パッケージで年功給レートコードを追加および更新します。

従業員の給与パッケージに手動で年功給レートコードを追加することもできます。手動で追加された年功給レートコードも、年功給更新プロセス (CMP013) を実行すると更新されます。

2. 年功給対象者の更新プロセス (CMP014S) を実行して、年功給コンポーネントに対する従業員の資格の有無を判定します。

従業員に年功給の資格がなくなった場合は、その従業員の給与パッケージから年功給レートコードが削除されます。ただし、このプロセスでは、手動で追加された年功給レートコードは削除されません。

3. 複数年功給コンポーネントレポートを実行して、複数の年功給レートコードを含む従業員レコードを確認し、その年功給コンポーネントが適切かどうかを判断します。

このセクションでは、年功給更新プロセスの概要、事前設定、および以下の作業を行う方法について説明します。

- 年功給の各コンポーネントの更新
- 年功給コンポーネント対象従業員の確認

## 事前設定

給与レートコード ページで、給与レートコードに年功給レートコード クラスを関連付け、年功給レートコードを作成しておく必要があります。

関連項目:

[第 2 章、「報酬管理の設定」、「給与レートコードの定義」、7 ページ](#)

## 年功給の管理に使用するページ

ページ名	オブジェクト名	ナビゲーション	用途
年功給の更新 - 年功給の更新	RUNCTL_SENPAY2	[人事・労務管理]、[一括更新処理]、[年功給処理]、[年功給の更新]	従業員給与パッケージの年功給コンポーネントを追加および更新します。
年功給対象者の更新 - 年功給対象者更新、複数年功給	RUNCTL_SENPAY	<ul style="list-style-type: none"> <li>• [人事・労務管理]、[一括更新処理]、[年功給処理]、[年功給対象者の更新]</li> <li>• [人事・労務管理]、[一括更新処理]、[年功給処理]、[複数年功給コンポーネント]</li> </ul>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 年功給対象者の更新プロセス (HR_CMP014) を実行して、年功給コンポーネントに対する従業員の資格の有無を確認します。</li> <li>2. 複数年功給コンポーネントレポート (PER044) を作成します。このレポートを使用して、複数の年功給レートコードを持つ従業員レコードを確認します。</li> </ol>

関連項目:

PeopleSoft Enterprise HRMS 9.0 アプリケーションの基礎 PeopleBook、「PeopleSoft Enterprise HRMS アプリケーションの基礎のレポート群」、「PER044 - 複数年功給コンポーネント - 基本レポート」

## 年功給コンポーネントの更新

“年功給の更新”コンポーネントの“年功給の更新”ページにアクセスします。

“年功給の更新” - “年功給の更新” ページ

- [将来有効日行を更新する]** このチェック ボックスをオンにすると、追加または修正しようとしている有効日行だけでなく、既存の将来有効日行（指定日より後の有効日を持つ行）が全て更新されます。
- [給与額のデフォルトを変更しない]** このチェック ボックスをオンにすると、デフォルトの給与額が変更されても、プレミアム吸収型の給与レートコードは変更されません。  
このオプションは、支給予定給与レートがあり、特別給与と自動計算機能が有効になっている給与プランを割り当てられている従業員にのみ適用されます。
- [処理基準]** 年功給の更新プロセス (HR\_CMP013) の実行方法として、[給与レートコード] または [グループ ID] のいずれかを選択します。  
[給与レートコード]: このページで選択した年功給レートコードと関連付けられているグループの全従業員の給与パッケージで、年功給レートコードが追加または更新されます。年功給レートコードがグループ ID と関連付けられていない場合は、全従業員の給与パッケージで年功給レートコードが追加または更新されます。  
[グループ ID]: このページで選択したグループ ID に関連付けられた全従業員の給与パッケージで、年功給レートコードが追加または更新されます。
- [給与レートコード]** このフィールドは、[処理基準] グループ ボックスで [給与レートコード] が選択されている場合に入力できます。1 つ以上の給与レートコードを選択します。複数の年功給レートコードを使用してプロセスを実行する場合は、行を挿入します。

**[グループ ID]** このフィールドは、[処理基準] グループ ボックスで [グループ ID] が選択されている場合に入力できます。1 つ以上のグループ ID を選択します。複数のグループ ID を使用してプロセスを実行する場合は、行を挿入します。ユーザーがセキュリティ アクセス権を持つグループだけが表示されます。

## 年功給の更新プロセスの実行

年功給の更新プロセスを実行するには、次の手順に従います。

1. アプリケーション エンジン プロセス HR\_CMP013 を実行します。  
このアプリケーション エンジン プロセスでは、ラン コントロール パラメータで指定した条件を満たす従業員が検索され、その従業員の情報が一時テーブルにロードされます。
2. SQR レポート CMP013 を実行して、アプリケーション エンジン プロセスによりロードされた情報を確認します。
3. アプリケーション エンジン プロセス HR\_CMP013\_CI を実行して、従業員の職務データの各ページにその情報をロードします。

### 関連項目:

PeopleSoft Enterprise ヒューマン リソース管理 9.0 PeopleBook: 基本報酬管理と予算計画、「基本報酬管理と予算計画の設定」、「給与プラン属性の定義」

PeopleSoft Enterprise HRMS 9.0 アプリケーションの基礎 PeopleBook、「グループ定義の設定と使い方」、「グループ セキュリティの設定」

Enterprise PeopleTools PeopleBook: PeopleSoft Process Scheduler

## 年功給コンポーネント対象従業員の確認

“年功給対象者の更新” の年功給対象者更新ページにアクセスします。

年功給対象者更新

ラン コントロール ID: SENPAY

レポートマネージャ

プロセス モニター

実行

パラメータ

指定日:

2004/11/01

31

☐ 将来有効日行を更新する  
☐ 給与額のデフォルトを変更しない

処理基準

☒ 給与レートコード
☐ グループ ID
☐ 全て

給与レートコード

検索 | 全件表示

最初 1/1

最後

HXMC52

Age Pay

+

-

グループ ID

検索 | 全件表示

最初 1/1

最後

+

-

“年功給対象者の更新” - 年功給対象者更新ページ

**[処理基準]** [全て] を選択すると、全従業員のレポートが実行されます。

従業員が年功資格を持たない場合は、その従業員の給与パッケージから年功給レートコードが削除されます。ただし、手動で追加された年功給レートコードは削除されません。

**注:** このページの残りのフィールドは、“年功給の更新”の“年功給の更新”ページのフィールドと同じです。

## 年功給対象者の更新プロセスの実行

年功給対象者の更新プロセスを実行するには、次の手順に従います。

1. アプリケーション エンジン プロセス HR\_CMP014 を実行します。  
このアプリケーション エンジン プロセスでは、ラン コントロール パラメータで指定した条件を満たす従業員が検索され、その従業員の情報が一時テーブルにロードされます。
2. SQR レポート CMP014S を実行して、アプリケーション エンジン プロセスによりロードされた情報を確認します。
3. アプリケーション エンジン プロセス HR\_CMP014\_CI を実行して、従業員の職務データの各ページにその情報を全てロードします。

### 関連項目:

第 5 章、「年功給管理」、「年功給コンポーネントの更新」、35ページ



## 第 6 章

# 従業員給与情報のリフレッシュ

この章では、給与デフォルトおよび給与プランの給与デフォルトの概要と、従業員給与パッケージのリフレッシュ方法について説明します。

---

## 給与デフォルトについて

従業員の採用時や従業員の職務レコードの更新時には、職務レコードにデフォルトの給与情報が自動的に入力されるか、または手動で入力できるよう給与フィールドが空欄になります。デフォルト給与のデータソースは、給与プランのデフォルト設定方法や各従業員の職務変更の内容によって異なります。

## 給与パッケージの変更

給与に影響する従業員職務レコードの構成要素を変更する際に、職務データ コンポーネントの給与データ ページの [デフォルト給与コンポーネント] ボタンをクリックすると、給与コンポーネントがリセットされます。システムでは以下の処理が実行されます。

- 現在のデフォルト値に基づいて、年功給を除く給与レート コードのデフォルト設定が実行されます。  
これらの値は、ルール ベースのコンポーネント デフォルト設定時に定義します。
- レート マトリックスに基づいて、年功給を除く給与レート コードのデフォルト設定が実行されます。  
レート マトリックスの関連付けは、ルール ベースのコンポーネント デフォルト設定の設定時に行うことができます。
- デフォルト コンポーネントに対する手動での更新が現在のデフォルト値に置き換えられます。
- 更新できないコンポーネントのデフォルト値が現在のデフォルト値に置き換えられます。
- 給与レート、年給、時給、日給、相対比率など、職務レコードの全ての給与関連フィールドが再計算されます。

職務データに関連するフィールドを更新した後に [デフォルト給与コンポーネント] ボタンをクリックしないと、新規レコードの保存時に警告メッセージが表示されます。[キャンセル] をクリックして給与データ ページに移動します。このページで [デフォルト給与コンポーネント] ボタンをクリックして、必要な変更を手動で行います。[デフォルト給与コンポーネント] ボタンをクリックしないと、(このボタンをクリックするかバッチ更新プロセスのどちらかによって) 次回デフォルト コンポーネント ロジックが起動するまで、給与パッケージはリセットされません。

## 給与の再計算

給与データ ページの [報酬計算] ボタンをクリックすると、給与レート コードのデフォルト設定の実行やデフォルト値の置換を行わずに、従業員の給与が再計算されます。手動で新規のコンポーネントを追加したり、あるいは従業員給与レコードの既存のコンポーネントに対する値を更新した場合には、再計算が必要です。従業員の給与コンポーネントを修正した後、給与を再計算しないでレコードを保存することはできません。

---

## 給与プランの給与デフォルトについて

“職務データ” の給与プラン ページで、従業員の給与管理プラン、労働協約、給与等級、および給与ステップを指定します。従業員を採用したり、従業員の職務レコードに変更を加えると、職務レコードにデフォルトの給与プラン情報が自動的に入力されるか、または手動で入力できるよう給与プラン フィールドが空欄になります。デフォルト給与のデータ ソースは、給与プランのデフォルト設定方法や職務変更の内容によって異なります。

### 関連項目:

PeopleSoft Enterprise ヒューマン リソース管理 9.0 PeopleBook: 基本報酬管理と予算計画、「PeopleSoft Enterprise ヒューマン リソース管理: 基本報酬管理と予算計画 - まえがき」

## 給与プランのデフォルト設定

LOCATION\_TABLE コンポーネント インターフェイスを使って、これらのコンポーネント インターフェイスのテーブルにデータをロードします。

以下の方法のいずれか、またはそれらを組み合わせることによって、従業員にデフォルトの給与プラン、給与等級、給与ステップを割り当てることができます。

- 所在地のプロファイル ページで、給与プランを勤務先の所在地と関連付けます。
- “職務コード テーブル” - デフォルト給与ページで、給与プランを職務コードと関連付けます。  
“職務データ” の勤務地 ページで入力した勤務地と関連付けられた給与プランがない場合には、“職務データ” の職務情報 ページで入力した職務コードと関連付けられた給与プラン（場合に応じて給与ステップや給与等級も）が入力されます。
- “職務データ” の給与プラン ページで、従業員に直接給与プランを割り当てます。  
選択した勤務地や職務コードと関連付けられた職務コードがない場合は、“職務データ” の給与プラン ページから直接給与プランを入力できます。デフォルトの給与プラン、給与ステップ、または給与等級の値を上書きすることも可能です。
- 給与等級ページで給与プランを労働協約と関連付けます。
- “職務データ” の給与プラン ページで、労働協約と関連付けられた給与プランを直接従業員に割り当てます。

職務データ コンポーネントで入力した給与プラン、給与ステップ、および給与等級の有効な組み合わせの存在が、システムによって確認されます。有効な組み合わせが存在しない場合は、警告メッセージが表示されます。



---

**注:** デフォルト給与コンポーネントの機能を使用して、職務データに給与ステップ コンポーネントのレートが自動入力されるようにするには、“インストール テーブル” の HRMS オプション ページで [複数ステップ給与等級] チェック ボックスをオンにします。

---

[デフォルト給与コンポーネント] ボタンをクリックすると、ステップ コンポーネントおよびその他の給与フィールドにデフォルト値が自動入力されます。職務または勤務地のフィールドに変更を加えると、給与プラン情報のデフォルトのみが入力されます。

### 採用時の給与管理プランのデフォルト値設定

従業員を採用すると、以下の給与管理プランが自動入力されます。

- “職務データ” の勤務地ページで選択した勤務地と関連付けられている給与管理プランがある場合は、“職務データ” の給与プラン ページにその給与プランが入力されます。
- “職務データ” の職務情報ページで選択した職務コードと関連付けられている給与管理プランはあるが、給与プランを選択した勤務地に関連付けしていない場合には、“職務データ” の給与プラン ページにその給与プラン (場合に応じて給与ステップや給与等級も) が自動入力され、給与情報の各フィールドは空欄のままとなり、入力が可能です。
- 勤務地と職務コードの両方に関連付けされた給与管理プランがある場合には、選択した勤務地と関連付けられたデフォルト値が使用されます。
- 給与プランが勤務地にも職務コードにも関連付けられていない場合は、給与プラン、給与等級、および給与ステップのフィールドは空欄のままとなり、入力が可能です。
- 有効な値を入力して、デフォルト給与管理プランの値を上書きすることもできます。

---

**注:** 給与管理プランが勤務地にも職務コードにも関連付けられていないが、基本レート コードが職務コードに関連付けられている場合は、“職務データ” の給与データ ページの [デフォルト給与コンポーネント] ボタンをクリックすると、基本レート コード情報が挿入されます。

---

### 採用後の給与管理プランのデフォルト値設定

既存の従業員の職務レコードに新規勤務地を入力すると、以下のデフォルト情報が自動入力されます。

- 新規勤務地と関連付けられた給与プランがある場合は、既存の給与等級や給与ステップの値が、その給与プランの給与等級や給与ステップの値と照査されます。

既存の給与等級や給与ステップが新規勤務地の給与プランに対しても有効な場合は、“職務データ” の給与プラン ページにこの新しい給与プランが自動入力されます。

- 既存の給与等級や給与ステップが新規勤務地の給与プランに対して有効でない場合には、既存の給与プランの値が保持されます。これにより、何かの事情で給与プランが割り当てられていない従業員が存在するということになります。

更新処理の一環として給与等級や給与ステップを変更したい場合は、給与プラン自体を新規の給与等級と給与ステップを持つ給与プランに変更する必要があります。

既存の従業員の職務レコードに新規職務コードを入力すると、以下の情報が自動入力されます。

- 新規職務コードとは関連付けられているが、勤務地コードとは関連付けられていない給与プランがある場合は、その職務コードに関連付けられた給与プラン、給与等級、および給与ステップの情報が入力されます。
- 新規職務コードと関連付けられた基本レート コードは入力されませんが、直前のデータ行のデフォルト給与データが挿入されます。

注: [デフォルト給与コンポーネント] ボタンをクリックしても、新規職務コードと関連付けられた基本レートコード情報は既存の職務レコードに挿入されません。新規の職務レコードを作成した場合（つまり、従業員を採用した場合）にのみ、この情報が既存の職務レコードに挿入されます。

## 従業員給与パッケージのリフレッシュ

従業員給与パッケージのリフレッシュには、“給与データのリフレッシュ” コンポーネント (RUN\_CMP015) を使用します。

従業員給与データのリフレッシュ アプリケーション エンジン プロセス (HR\_CMP015) を使用して、従業員の給与パッケージを更新します。このプロセスを実行すると、システム内の現在の値に基づいて給与が再計算され、従業員の給与になんらかの変更があれば新規の職務データ行が挿入され、現在の正しい給与額が自動的に入力されます。このプロセスを実行すると、手動での変更が新しいデフォルト値で置き換えられます。

### 従業員給与データのリフレッシュ プロセスについて

従業員給与データのリフレッシュ プロセスでは、給与データ ページの [デフォルト給与コンポーネント] ボタンと同じ処理が実行されますが、一度に複数のレコードを更新することができます。

従業員給与データのリフレッシュ プロセスを実行すると、以下の処理が行われます。

- [指定日] フィールドに指定日を入力して、[新規有効日を追加] を選択すると、新しい職務データ行が挿入されます。
- [指定日] フィールドに入力した日付の時点で有効な職務データ行が更新されます。
- [将来有効日行を更新する] チェック ボックスをオンにすると、将来有効行が全て更新されます（将来有効日行とは、指定日以降に有効になる行です）。

#### 関連項目:

第 3 章、「給与レートの定義とルール ベースのコンポーネント デフォルト設定」、「ルール ベースのコンポーネント デフォルト設定について」、17 ページ

### 従業員給与パッケージのリフレッシュに使用するページ

ページ名	オブジェクト名	ナビゲーション	用途
給与データリフレッシュ	RUNCTL_CMP015	[人事・労務管理]、[一括更新処理]、[給与データのリフレッシュ]	複数の従業員給与パッケージを現在のデフォルト値でリフレッシュし、影響を受けた従業員の新/旧データが表示されたレポートを印刷します。

### 従業員給与データのリフレッシュ プロセスの実行

給与データ リフレッシュ ページにアクセスします。

給与データリフレッシュ ページ

**[レポート パラメータ]****[指定日]、[現在行を修正]**

従業員レコードの情報を更新、および上書きする場合、[指定日] に日付を入力し、[現在行を修正] をクリックします。入力した指定日の時点で有効なレコードが更新されます。

**[指定日]、[新規有効日を追加]**

指定日を新規有効日とする新しい有効日付き行を挿入する場合、[指定日] に日付を入力し、[新規有効日を追加] をクリックします。たとえば、[指定日] に 2003/01/01 を入力してプロセスを実行します。プロセスにより、2003/01/01 を有効日とする新しい職務行が挿入されます。

この有効日の付いたレコードが既に存在する場合は、その日付と連番が付いた行が挿入されます。

**[将来有効日行を更新する]**

既に追加または修正された有効日付きの行に加えて、将来有効日の付いた既存の行を全て更新する場合に、このチェック ボックスをオンにします（将来有効日行とは、[指定日] で入力した日付以降の有効日が付いた行です）。

**[給与額のデフォルトを変更しない]**

このチェック ボックスをオンにすると、デフォルト給与額が変更される際に、プレミアム吸収型給与レート コードにはその変更が反映されないままになります。

このオプションは、支給予定給与レートがあり、プレミアム自動計算機能が有効になっている給与プランを割り当てられている従業員にのみ適用されます。

**[処理基準]****[グループ ID]**

グループ ID ごとに処理を行う場合に、このチェック ボックスをオンにします。指定したグループ ID を持つ全ての従業員が更新プロセスの対象となります。

**[全て]** ユーザーがセキュリティ アクセス権を持つ全ての従業員の処理を行う場合に選択します。

### 従業員給与データのリフレッシュ プロセスとレポートの実行

このプロセスを実行するには、プロセス スケジューラのプロセス リクエスト ページで、従業員給与データのリフレッシュ アプリケーション エンジン プロセス (HR\_CMP015) を選択します。

プロセスを実行後、従業員給与データのリフレッシュ レポート (CMP015) を実行し、更新されたデータを確認できます。このレポートには、影響のあった従業員の新旧の給与データが表示されます。

### 関連項目:

PeopleSoft Enterprise ヒューマン リソース管理 9.0 PeopleBook: 基本報酬管理と予算計画、「基本報酬管理と予算計画の設定」、「給与プラン属性の定義」

# PeopleSoft Enterprise 用語一覧

<b>EIM 元帳</b>	Enterprise Incentive Management 元帳の略。PeopleSoft Enterprise Incentive Management では、参加者のスコープ内の増分結果を処理するオブジェクトのことです。元帳には、データオリジンと、元になった処理ステップに対する全ての適切な追跡を含んだ結果セットがキャプチャされます。
<b>GDS</b>	“Global Distribution System (グローバル販売システム)” の略です。旅行計画を作成するためのコンピュータ予約システム全般を示す広義的な用語です。
<b>GL ビジネス ユニット/GL ユニット</b>	一般会計ビジネスユニットのことです。会計処理上、独立している組織内のエンティティを指します。GL ユニットごとに固有の会計帳簿が管理されます。 ビジネス ユニットの説明も参照してください。
<b>KPI</b>	“Key Performance Indicator (主要業績評価指標)” の略です。組織の重要成功要因の達成度を測るための、上位レベルの尺度です。KPIにより、評価の基準となるデータ値や計算方法が定義されます。
<b>KVI</b>	“Known Value Item (価格や価値が消費者によく知られている商品)” の略です。販売価格を上げたり下げたりすることができない製品または製品グループに使用する用語です。
<b>LDIF ファイル</b>	“LDAP (Lightweight Directory Access Protocol) Data Interchange Format (LDAP データ交換フォーマット) ファイル” の略です。このファイルには、PeopleSoft Enterprise のデータとディレクトリ データとの差異が記録されます。
<b>MCF サーバー</b>	PeopleSoft MultiChannel Framework (マルチチャネルフレームワーク) サーバーの略です。ユニバーサル キュー サーバーと MCF ログ サーバーで構成されます。どちらのプロセスも、アプリケーション サーバードメイン設定で MCF サーバーが選択されたときに開始されます。
<b>NDP</b>	“Non-Discountable Products (割引対象外の製品)” の略です。販売価格を下げるできない製品または製品グループに使用する用語です。
<b>PeopleCode</b>	PeopleSoft Enterprise コンポーネントプロセッサによって実行される固有の言語です。PeopleCode は、既存のデータやユーザーのアクションに基づいて結果を生成します。PeopleTools で提供されるさまざまなツールを使用すると、PeopleCode を実行可能な全ての PeopleSoft Enterprise アプリケーションで外部サービスが利用できるようになります。
<b>PeopleCode イベント</b>	“イベント” の説明を参照してください。
<b>PeopleSoft ピュア インターネット アーキテクチャ (PIA)</b>	リレーショナル データベース管理システム (RDBMS)、アプリケーション サーバー、Web サーバー、およびブラウザで構成される、PeopleSoft 8 の基本アーキテクチャです。
<b>REN サーバー</b>	PeopleSoft マルチチャネルフレームワークの Real-time Event Notification サーバーの略です。
<b>RFI イベント</b>	PeopleSoft Enterprise ストラテジックソーシングにおいて、情報の依頼を指します。
<b>RFx イベント</b>	PeopleSoft Enterprise ストラテジックソーシングにおいて、入札者間の競争が少なく、複数の入札者が予算内の最高金額で入札した場合に行われる提案依頼または見積イベントの依頼を指します。
<b>SCP SCBM XML メッセージ</b>	SCP = サプライチェーン プランニング、SCBM = サプライチェーンビジネス モデラを意味しています。サプライチェーンビジネス モデラでは、データのインポートおよびエクスポートは、全て XML の形式で行われます。

<b>XLink (XML リンク)</b>	XMLドキュメントに、リソース間のリンクを記述するためのリンク言語です。
<b>XML スキーマ</b>	アプリケーション メッセージ、コンポーネント インターフェイス、またはビジネス インターリンクの表示を統一する XML 定義です。
<b>XPI</b>	eXtended Process Integrator の略です。PeopleSoft XPI は、JD Edwards EnterpriseOne アプリケーションとのリアルタイムおよびバッチでの連携を可能にする統合インフラストラクチャです。
<b>アイテム</b>	<p>PeopleSoft Enterprise 在庫管理では、ビジネス ユニットに保管されている(または倉庫から出荷される)物品を指します。</p> <p>PeopleSoft Enterprise 需要計画、在庫ポリシー計画、および供給管理では、計画の目的のみで使用する非在庫アイテムを指します。非在庫アイテムを使用して、在庫アイテムのファミリまたはグループを表すことができます。計画部品表や計画工程手順を設定することができ、計画部品表の構成部品として使用することもできます。計画アイテムは、生産用または設計用の部品表や工程手順に指定することはできず、生産の構成部品として使用することもできません。手持数量は管理されません。</p> <p>PeopleSoft Enterprise 売掛金管理では、個々の売掛金を指します。たとえば、請求書、貸方メモ、借方メモ、償却、または調整などがアイテムに該当します。</p>
<b>アクション テンプレート</b>	PeopleSoft Enterprise 売掛金管理において、顧客やアイテムが、アクションプランの特定の状態にどのくらいの期間とどまっていたかに基づいて、システムまたはユーザーによって段階的に実行されるアクションの概要を定義します。
<b>アクティビティ</b>	<p>PeopleSoft Enterprise ラーニング マネジメントでは、登録可能なカタログ アイテム (クラス) のインスタンスを指します。このアクティビティによって、提供物に関連する費用、登録の制限と期限、および登録待ち人数の定員などが定義されます。</p> <p>PeopleSoft Enterprise パフォーマンス マネジメントでは、アクティビティベース マネジメントでコスト計算に使用される、組織の業務と一連のアクションを指します。</p> <p>PeopleSoft Enterprise プロジェクトコスト管理では、プロジェクトをさらに細かく(通常は各タスクに)分類するための業務単位を指します。</p> <p>PeopleSoft ワークフローでは、ビジネス プロセス内で実行する必要がある各トランザクションを指します。アクティビティは、トランザクションを実行するための各ステップで構成されるため、ステップ マップとも呼ばれます。</p>
<b>アプリケーション メッセージング</b>	PeopleSoft Enterprise 製品ファミリのアプリケーションと、他の PeopleSoft Enterprise 製品またはサードパーティのアプリケーションとを同期または非同期の形式で連携させることができる機能です。アプリケーション メッセージには、パブリッシュ/サブスクライブの対象となるレコードとフィールドが定義されます。
<b>異動理由</b>	従業員の職務または雇用情報が更新された理由です。異動理由は、人事異動(昇進、雇用終了、支給グループの変更など)と、その理由という2つの部分から成ります。異動理由は、PeopleSoft Enterprise ヒューマンリソース管理、PeopleSoft Enterprise Benefits Administration、PeopleSoft Enterprise Stock Administration、および基本福利厚生管理ビジネスプロセスの COBRA 管理機能によって使用されます。
<b>イベント</b>	<p>コンポーネントプロセッサフローまたはプログラムフロー内にあらかじめ定義されたポイントです。各ポイントに達すると、イベントによって各コンポーネントがアクティブ化され、そのコンポーネントとイベントに関連付けられている PeopleCode プログラムが開始されます。イベントの例としては、FieldChange、SavePreChange、および RowDelete などがあります。</p> <p>また、PeopleSoft Enterprise ヒューマンリソース管理では、福利厚生の給付条件に影響する出来事を指します。</p>
<b>イベント継承プロセス</b>	PeopleSoft Enterprise Sales Incentive Management では、元の PeopleSoft Enterprise Incentive Management イベントの継承を(ロジックを通じて)決定し、他

	<p>のオブジェクトによって処理される元のイベントのデリバティブを作成するプロセスのことです。PeopleSoft Enterprise Sales Incentive Management では、このメカニズムを使用して分割やロールアップなどが実装されます。イベント継承により、貸方金額をだれが受け取るかが決定します。</p>
<b>イベント制約</b>	<p>PeopleSoft Enterprise ストラテジックソーシングにおいて、特定のソーシングイベントに関連付けられる制約を指します。選択したイベント内で支出が追跡されます。</p>
<b>依頼者</b>	<p>PeopleSoft Enterprise eSettlement-決済管理において、商品またはサービスを依頼し、発注書を参照するさまざまな購買ページに ID が表示されている担当者を指します。</p>
<b>インテグレーション</b>	<p>システム間の連携を可能にする 2 つのインテグレーション ポイント間の関係です。インテグレーションによって、PeopleSoft Enterprise アプリケーションは、他の PeopleSoft Enterprise アプリケーションやサードパーティのシステム/ソフトウェアとシームレスに連携することができます。</p>
<b>インテグレーション セット</b>	<p>同じ目的で使用するインテグレーションの論理グループです。たとえば、インテグレーション セット ADVANCED SHIPPING ORDER には、注文に対する出荷を顧客に通知するために使用される全てのインテグレーションが含まれます。</p>
<b>インテグレーション ポイント</b>	<p>他の PeopleSoft Enterprise アプリケーションや外部アプリケーションとの連携に使用されるインターフェイスです。</p>
<b>ウェアハウス</b>	<p>定義済み ETL マップ、データウェアハウスツール、およびデータマート定義で構成された PeopleSoft Enterprise データウェアハウスです。</p>
<b>売掛金担当者</b>	<p>PeopleSoft Enterprise 売掛金管理において、売上調整と未解決アイテムを追跡および解決する担当者のことを指します。</p>
<b>オークション イベント</b>	<p>PeopleSoft Enterprise ストラテジックソーシングにおいて、最適な価格またはスコアを達成するために、入札者間で積極的な競争が行われるソーシングイベントを指します。</p>
<b>会計処理クラス</b>	<p>PeopleSoft Enterprise パフォーマンス マネジメントにおいて、一般に認められている会計原則 (GAAP) で、リソースがどのように取り扱われるかを定義します。在庫クラスは、リソースが貸借対照表勘定科目に含まれるかどうか (在庫や固定資産など) を示し、非在庫クラスは、リソースが発生した期間の費用として処理されることを示します。</p>
<b>会計処理日</b>	<p>取引が実際に発生した日ではなく、取引が認識された日付を示します。会計処理日と取引日は同じである場合もあります。会計処理日により、取引の転記先の総勘定元帳における会計期間が決まります。選択できる会計処理日は、転記先の元帳のオープン期間内の日付に限られます。通常、アイテムの会計処理日は請求日になります。</p>
<b>会計分割</b>	<p>会計分割メソッドは、1 つまたは複数の会計チャートフィールドセットに、支出がどのように割り当てまたは分割されるかを示します。</p>
<b>回収ルール</b>	<p>PeopleSoft Enterprise 売掛金管理において、未決済残高の金額と期限からの経過日数に基づき、顧客に対して実行するアクションを定義するユーザー定義のルールのことを指します。</p>
<b>価格コンポーネント</b>	<p>PeopleSoft Enterprise ストラテジックソーシングにおいて、全体の入札価格を構成する材料費、人件費、出荷費用などの各種コンポーネントを指します。</p>
<b>価格設定</b>	<p>PeopleSoft Enterprise ストラテジックソーシングにおいて、落札数量に基づいて入札者が行う値引きまたは金額の上乗せを指します。</p>
<b>価格リスト</b>	<p>価格リストを使用して、製品および取引の際に適用される条件を選択できます。取引の際は、その取引に定義されている検索階層に基づいて製品の価格が自動的に決定されるか、または製品に関連付けられたアクティブな価格リ</p>

	ストの最低価格が使用されます。この価格は、以後の全ての割引や割増に対する基準として使用されます。
<b>価格ルール</b>	基本価格に調整が適用されるための条件です。それぞれの条件が満たされれば、複数のルールが適用される場合もあります。
<b>価格ルール キー</b>	価格ルールに対して価格ルール条件(取引のマッチングに使用)を定義するために利用可能なフィールドを定義します。
<b>価格ルール条件</b>	価格設定フィールドとその値を選択し、価格設定フィールドが取引にどのように適用されるかを決定する演算子を選択します。
<b>学習者グループ</b>	PeopleSoft Enterprise ラーニング マネジメントにおいて、同じラーニング環境にリンクされた学習者のグループを指します。同じ学習者グループのメンバーは、部門や職務コードなど、同じ属性を共有します。学習者グループを使用して、ラーニング アクティビティやプログラムへのアクセスや登録を制御することができます。また、バックオフィスでグループ登録や一括登録を実行するためにも使用されます。
<b>学習予定</b>	PeopleSoft Enterprise ラーニング マネジメントにおいて、学習者ごとに計画されている全てのラーニング アクティビティおよびプログラムを格納するセルフサービスリポジトリです。
<b>学習履歴</b>	PeopleSoft Enterprise ラーニング マネジメントにおいて、学習者が完了した全てのラーニング アクティビティやプログラムを記録するセルフサービスリポジトリです。
<b>カタログ アイテム</b>	PeopleSoft Enterprise ラーニング マネジメントにおいて、学習者が学習および追跡できるトピックを指します。たとえば、“Microsoft Word について”などがこれに該当します。カタログ アイテムには、トピックについての一般的な情報に加え、コースコード、説明、カテゴリ分類、キーワード、および提供方法が含まれています。1つのカタログ アイテムには、1つまたは複数のラーニング アクティビティが含まれます。
<b>カタログ パートナ</b>	PeopleSoft Enterprise カatalog 管理において、カタログ コンテンツの管理責任を企業のカatalog 管理者と共有します。
<b>カタログ マップ</b>	PeopleSoft Enterprise カatalog 管理において、カタログのソース データから会社仕様のカタログに値を変換するために使用されます。
<b>各国機能</b>	PeopleSoft Enterprise HRMS において、国ごとに利用できる情報セットを指します。この情報にアクセスするには、グローバル ウィンドウで目的の国のフラグをクリックするか、または特定の国向けのメニューからアクセスします。
<b>カテゴリ分類</b>	パートナからのオファーをカタログのオファーに関連付け、それらを会社のカatalog カテゴリにグループ化します。
<b>仮受消費税記録フラグ</b>	“仮払消費税記録フラグ”の説明を参照してください。
<b>仮払消費税記録フラグ</b>	PeopleSoft Enterprise 購買管理、買掛金管理、および一般会計では、このフラグは取引に仮払消費税が記録されることを示します。このフラグは、仮受消費税記録フラグと併せて、取引に対して作成される会計入力と、消費税申告書での取引の申告方法を決定するために使用されます。購買管理と買掛金管理では、取引の消費税情報が追跡されるので、このフラグは必ず“記録する”に設定します。常に仮受消費税だけが記録される PeopleSoft Enterprise 受注管理、請求管理、売掛金管理と、常に仮払消費税だけが記録される PeopleSoft Enterprise 経費管理では、このフラグは使用されません。
<b>関係オブジェクト</b>	PeopleSoft Enterprise Incentive Management では、これらのオブジェクトは給与オブジェクトとビジネス オブジェクトの間の関連性を設定することによって、取引を解決するための給与構造を詳細に定義します。
<b>関係者</b>	ワークフォースの一員ではないものの、組織が情報を管理する対象となる個人を指します。



換算先通貨	予算表示や照会のために、入力通貨から換算する単一の通貨です。
期間コンテキスト	PeopleSoft Enterprise Incentive Management では、参加者は通常複数の期間に同じ給与プランを使用するので、期間コンテキストによってプランのコンテキストが特定のカレンダー期間と会計年度に関連付けられます。期間コンテキストは、関連するプランコンテキストを参照してチェーンを形成します。各プランコンテキストには対応する期間コンテキストのセットがあります。
基本期間	PeopleSoft Enterprise ビジネスプランニングにおいて、カレンダー内の最も基本的な期間を指します。
キャッシュドロア	現金を収納して支払をその場で行うための引出しです。
休暇取得	受給者が、有給休暇を認められるために満たす必要のある条件を定義するエレメントです。
休暇付与	病欠、休養、産休など、有効と認められる休暇について、有給休暇を承認するためのルールを定義するエレメントです。休暇付与エレメントにより、承認可能な金額、頻度、および期間が定義されます。
給与オブジェクト	PeopleSoft Enterprise Incentive Management では、給与構造内のノードを指します。給与オブジェクトは、給与構造の階層を構成する基本単位です。
給与構造	PeopleSoft Enterprise Incentive Management では、給与オブジェクトの階層関係のことです。これは、オブジェクト間の給与関連の関係を表します。
行	PeopleSoft Enterprise ストラテジックソーシングにおいて、入札できる個々のアイテムまたはサービスを指します。
業績指標	PeopleSoft Enterprise Incentive Management では、奨励プランの適用範囲内でデータを格納するために使用される変数を指します(アグリゲータと似ていますが、あらかじめ定義されている計算式はありません)。業績指標は、プランのカレンダー、地域、および参加者に関連付けられます。業績指標は割当額の計算やレポートに使用されます。
共通アローワンス	PeopleSoft Enterprise プロモーション マネジメントにおいて、制限付きで資金供給された企業レベルでのプロモーションを指します。業界一般では、これはコーポレートプロモーションやコーポレートディスカウントなどと呼ばれます。
共通ナビゲーション ヘッダー	全ての PeopleSoft Enterprise ポータルには、ナビゲーション ヘッダーが含まれます。これは、ユーザーがそのポータルにサインインしている限り、全てのページで上部に表示されます。ナビゲーション ヘッダーには、標準のナビゲーション ボタン(ホーム、お気に入り、サインオフなど)に加え、各ユーザーへのメッセージなども表示できます。
共有ドライバ計算式	PeopleSoft Enterprise ビジネスプランニングで使用される、ドライバ計算式に似たプランニング メソッドです。1つのプランニング アプリケーション内で共有するためにグローバルに設定したり、PeopleSoft Enterprise ウェアハウスを通じて複数のプランニング アプリケーション間で共有するように設定したりできます。
金融制裁	<p>米国に拠点を置く企業やその企業の海外の子会社は、米国財務省海外資産管理局 (OFAC) の連邦規制により、支払前に取引先が特定国籍業者 (SDN) リストの対象かどうかを確認することが求められます。</p> <p>PeopleSoft Enterprise 買掛金管理、eSettlement-決済管理、資金管理、および Order to Cash では、取引先が金融制裁リスト (SDN リストや欧州連合のリストなど) の対象であるかを確認できます。</p>
クラス チャートフィールド	予算を予算期間、資金、部門 ID、およびプログラムコードと組み合わせた場合に、一意の支出予算キーを識別するためのチャートフィールド値です。以前はサブ分類と呼ばれていました。

グループ	<p>PeopleSoft Enterprise 請求管理と売掛金管理では、1 つまたは複数の取引で構成される転記対象を指します。たとえば、アイテム、入金、振替、マッチング、償却などがあります。</p> <p>PeopleSoft Enterprise ヒューマンリソース管理とサプライチェーン マネジメントでは、PeopleSoft ビジネス プロセスで計算を実行するため、同一の名前または変数に関連付けられたレコードのセットを指します。たとえば、PeopleSoft Enterprise 勤務管理では、従業員は勤務時間報告用のグループにまとめられます。</p>
グローバル制約	<p>PeopleSoft Enterprise ストラテジックソーシングにおいて、複数のストラテジックソーシングビジネス ユニットに適用される制約を指します。複数のストラテジックソーシングビジネス ユニットの全てのイベントにわたって支出が追跡されます。</p>
契約	<p>PeopleSoft Enterprise eSettlement-決済管理において、支払条件、銀行情報、通知などの処理オプションを、購買者とサプライヤの所在地の組み合わせによってグループ化および指定するための手段です。</p>
原価プロファイル	<p>受領原価計算方法、原価フロー、および払出原価計算方法の組み合わせです。プロファイルは台帳に関連付けられ、その台帳におけるアイテムの評価方法や、アイテムの物理的移動の評価方法を決定します。</p>
現在の学習内容	<p>PeopleSoft Enterprise ラーニング マネジメントにおいて、現在進行している全てのラーニング アクティビティおよびプログラムに対するセルフサービスリポジトリを指します。</p>
検索クエリー	<p>検索エンジンにクエリー文字列と演算子を渡すために使用されます。検索インデックスは、一致する結果のセットをソースドキュメントへのキーと共に返します。</p>
検索/マッチング	<p>PeopleSoft Enterprise ヒューマンリソース管理において、データベース内の重複するレコードを検索、特定するための機能です。</p>
合計コスト	<p>PeopleSoft Enterprise ストラテジックソーシングにおいて、特定の落札方法の見積コスト(実際の金額と、“ソフトダラー”すなわち現金などの直接の支払以外の支払手段によるものの合計)を指します。</p>
購買イベント	<p>PeopleSoft Enterprise ストラテジックソーシングにおいて、イベント作成者にとっては、商品やサービスを購入することを指し、通常は見積依頼、提案、またはリバースオークションに関連付けられます。入札者にとっては、商品やサービスを販売することを指します。</p>
購買者	<p>PeopleSoft Enterprise eSettlement-決済管理において、システム内でサプライヤ(取引先)と取引をする組織またはビジネス ユニットを指します(個人ではありません)。購買者は、システム内で実行された購買に対する支払いを作成します。</p>
顧客サブグループタイプ	<p>詳細な履歴、エージング、イベント、およびプロファイルの生成が可能な区分に顧客を分類するための値です。</p>
コストプラス価格設定	<p>PeopleSoft Enterprise Pricer において、商品の原価を基準に価格を設定する方法を指します。</p>
コストプラス契約行	<p>報奨、固定、奨励金、またはその他の料金コンポーネントに関連付けられるレートベースの契約行です。料金タイプが“なし”に関連付けられるレートベースの契約行は、コストプラス契約行とは見なされません。</p>
コレクション	<p>ドキュメントのセットを Verity で検索可能にするには、最初にコレクションを少なくとも1 つは作成する必要があります。コレクションとは、ディレクトリおよびファイルのセットです。コレクションにより、検索アプリケーションのユーザーが Verity 検索エンジンを使用して、検索条件に一致するソースドキュメントをすばやく検索および表示することが可能になります。コレクションは、ファイル サーバー別に固有のフォーマットで格納されたソースドキュメントに対する統計値とポインタで構成されます。コレクションは単一の場所の情報しか格納できないため、PeopleTools では検索索引オブジェクトごとに複数のコレクションのセット(言語コードごとに1 つ)が管理されます。</p>

<b>コンテキスト</b>	<p>PeopleCode において、PeopleCode プログラムの実行中に、前後関係から見てどのバッファフィールドが参照可能か、各スクロールレベル上の現在のデータ行がどの行か、などを判断する基準を指します。</p> <p>PeopleSoft Enterprise Incentive Management では、プロセスの実行範囲の決定に使用されるメカニズムを指します。PeopleSoft Enterprise Incentive Management では、計画、期間、および実行レベルの 3 つのタイプが使用されます。</p>
<b>コンテンツ参照</b>	ポータルレジストリに登録されているコンテンツへのポインタです。通常は URL か iScript のいずれかになります。コンテンツ参照は、ターゲットコンテンツ、テンプレート、およびテンプレートページレットの 3 つのカテゴリに分類されます。
<b>コントロールテーブル</b>	アプリケーションの処理を制御する情報が格納されます。このような情報は、組織全体を通じて一貫している場合もあれば、データの共有がより限定され、組織の一部分によってのみ使用される場合もあります。
<b>コンポーネント インターフェイス</b>	API (アプリケーション プログラミング インターフェイス) のセットであるコンポーネント インターフェイスを介すことにより、PeopleSoft クライアントを使用していなくても、プログラムを通じて PeopleSoft Enterprise データベース情報にアクセスしたりデータを修正したりすることができます。
<b>サードパーティ</b>	PeopleSoft によって認定され、PeopleSoft Enterprise アプリケーションと互換性のある製品やインテグレーションを提供する会社やベンダーです。通常は PeopleSoft Enterprise の製品に関して幅広い知識を持っています。
<b>最適化エンジン</b>	PeopleSoft Enterprise ストラテジックソーシングで使用される PeopleTools コンポーネントで、入札を評価して割り当てる、最適な落札金額を決定します。推奨落札金額は、購買と会社の目的および制約に従って価額が最大になるように設定されます。
<b>作業指示</b>	PeopleSoft Enterprise サービスプロキュアメントにおいて、サービスプロバイダとの契約の基本条件を指定する、リソースベースや成果物ベースの取引を作成できるようにします。サービスプロバイダと契約したら、そのサービスプロバイダは作業指示に従って時刻と進捗状況を記録します。
<b>作業別歩留</b>	PeopleSoft Enterprise 生産管理において、生産されるアイテムに対し、作業ごとの損失を見積もる機能です。
<b>サブビジネスプロセス</b>	ビジネスプロセスのサブセットです。たとえば、“資金管理”というビジネスプロセスのサブセットとして“キャッシュポジションの決定”というサブビジネスプロセスがあります。
<b>サマリツリー</b>	要約元帳内のレポートのタイプごとに勘定科目をロールアップするために使用されるツリーです。サマリツリーを使用すると、ツリーのツリーを定義できます。サマリツリー内の詳細値は、実際には詳細ツリーまたは別のサマリツリー (基本ツリー) 上のノードにあります。サマリツリーの構造によって、そのサマリツリーの土台となる詳細値が指定されます。
<b>参加者</b>	PeopleSoft Enterprise Incentive Management では、参加者は奨励報酬計算プロセスの受取人のことです。
<b>参加者オブジェクト</b>	各参加者オブジェクトは、1 つまたは複数の給与オブジェクトに関連付けられます。“給与オブジェクト”を参照してください。
<b>参照オブジェクト</b>	PeopleSoft Enterprise Incentive Management では、このディメンジョンタイプのオブジェクトによってビジネスをより詳細に定義します。参照オブジェクトには、製品ツリー、顧客ツリー、業種ツリー、地理ツリーなど、独自の階層を定義できます。
<b>参照データ</b>	PeopleSoft Enterprise Sales Incentive Management では、担当地域、参加者、製品、顧客、チャネルなどの販売単位を表すシステム オブジェクトのことです。

<b>参照取引</b>	コミットメントコントロールにおいて、より上位のレベルの（かつ通常はより最近の）ソース取引によって参照されるソース取引を指します。これは、参照先取引の予算チェック済み金額の一部または全てを自動的に取り消すために行われます。これにより、異なるコミットメントレベルで取引が順次入力される際に重複転記を防ぐことができます。たとえば、エンカンパランス取引（発注など）の金額が予算と比較してチェックおよび記録される際、同時に、対応するブレエンカンパランス取引（調達依頼など）の金額の一部または全てが参照され自動的に取り消されます。
<b>資金</b>	PeopleSoft Enterprise プロモーション マネジメントにおいて、プロモーション アクティビティへの資金を供給する予算です。資金供給方法には、トップダウン、固定計上、ローリング計上、ゼロ基準計上の4つがあります。
<b>資産クラス</b>	レポート目的に使用される資産グループです。資産区分と組み合わせることで使用することにより、資産をさらに綿密に分類できます。
<b>システム機能</b>	PeopleSoft Enterprise 売掛金管理において、一般会計の会計入力がシステム内でどのように作成されるかを定義するアクティビティです。
<b>システム ソース</b>	<p>システム ソースによって、データベースの取引行のソースが識別されます。たとえば、PeopleSoft Enterprise 経費管理から開始するトランザクションには、システム ソースコード“BEX”（経費管理バッチ）が含まれます。</p> <p>PeopleSoft Enterprise プロジェクトコスト管理で請求用のソース取引行の価格を設定すると、新規行のシステムソースを表すシステムソースコード“PRP”（プロジェクトコスト価格設定）が付いた行が作成されます。システムソースコードでは、PeopleSoft Enterprise システム内外のソースを表すことができます。たとえば、Microsoft Project から PeopleSoft Enterprise アプリケーションにデータをインポートするプロセスでは、ソースコード“MSP”（Microsoft Project）が付いた取引行が作成されます。</p>
<b>実行レベルコンテキスト</b>	PeopleSoft Enterprise Incentive Management では、特定のプロセス実行（およびバッチ ID）を期間コンテキストとプランコンテキストに関連付けるために使用します。特定のプロセス実行に関連する全てのプランコンテキストには個別の実行レベルコンテキストがあります。1つのプロセス実行が複数の期間にまたがることはできないので、各プランコンテキストには1つの実行レベルコンテキストだけが関連付けられます。
<b>支払サイクル</b>	PeopleSoft Enterprise 買掛金管理において、支払作成の際に、支払予定を選択するための基準を定義するルールセットを指します。
<b>従業員/非従業員</b>	ワークフォースの一員となる個人です。従業員または非従業員が含まれます。
<b>重要度</b>	PeopleSoft Enterprise ストラテジックソーシングにおいて、イベント全体に対する行または質問の重要度を指します。重要度は入札のスコア付けと分析に使用します。RFx イベントとRFI イベントでは、重要度は入札者に示される場合と示されない場合があります。
<b>出張グループ</b>	PeopleSoft Enterprise 経費管理において、特定のビジネスユニット、部門または従業員に関連付けられる組織の出張規定および方針を指します。PeopleSoft Enterprise 経費管理の出張機能を設定する場合は、出張グループを1つ以上定義する必要があります。また、旅行会社には出張グループを1つ以上定義して関連付ける必要があります。
<b>出張パートナ</b>	PeopleSoft Enterprise 経費管理において、組織が契約関係を結んだ旅行会社を指します。
<b>取得価格行</b>	チャートフィールドのセットに対する原価取引と金額です。
<b>条件</b>	PeopleSoft Enterprise 売掛金管理において、与信限度額に達したり、ユーザー定義の未払残高を超えたりして、顧客の勘定のステータスが変更された場合に発生する状況を指します。

<b>消費税対象外(非課税)</b>	消費税の課税対象ではない商品やサービスを指します。消費税対象外の商品やサービスを提供する組織は、関連する仮払消費税を回収することはできません。これは、回収不能免除とも呼ばれます。
<b>消費税保留</b>	消費税支払の一時的免除を許可された組織を指します。
<b>消費税免除(免税)</b>	組織の性質を理由に消費税支払の永久的免除を許可された組織を指します。
<b>消費税例外</b>	組織に対して許可された、一時的または永久的な消費税支払免除のことです。これには、消費税免除と消費税保留の両方の状況が含まれます。
<b>奨励オブジェクト</b>	PeopleSoft Enterprise Incentive Management では、PeopleSoft Enterprise Incentive Management の計算プロセスと結果を定義およびサポートする、奨励関連のオブジェクトのことです(プラン テンプレート、プラン、結果データ、ユーザー介入オブジェクトなど)。
<b>奨励ルール</b>	PeopleSoft Enterprise Sales Incentive Management では、取引に対して動作し、それらを報酬に変えるコマンドのことです。1つのルールは、取引を報酬に変えるプロセスの一部分です。
<b>所在地</b>	さまざまなタイプの住所を示すために使用します。たとえば企業の場合、請求書受け取り先、出荷先、郵送先などの各住所や、別の建物などを表すために使用できます。各住所には異なる所在地番号があります。1で表される主要所在地は、最も頻繁に使用する住所を示します。これは、主住所とは異なる場合があります。
<b>シリアル/ロット構成</b>	PeopleSoft Enterprise 生産管理において、シリアル管理アイテムの生産工程を追跡するための機能です。
<b>シリアル/ロット生産管理</b>	PeopleSoft Enterprise 生産管理において、製造アイテムのシリアル情報を追跡するための機能です。この情報は、アイテム マスター レコード内で管理されます。
<b>シングル サインオン</b>	シングル サインオンを使用すると、ユーザーは PeopleSoft Enterprise アプリケーション サーバーによる認証を受けた後、ユーザー ID やパスワードを再入力せずに2つ目の PeopleSoft Enterprise アプリケーション サーバーにアクセスできます。
<b>シンジケート</b>	会社のカタログの実用バージョンをパートナーに配布することです。
<b>進捗ログ</b>	PeopleSoft Enterprise サービス プロキユアメントにおいて、成果物ベースのプロジェクトを追跡するために使用されます。進捗ログは、タイム シートと同様に機能し処理されます。サービス プロバイダの担当者は、進捗ログを使用して成果物の進捗状況を記録および提出します。進捗状況は、実行されるアクティビティごとに記録するか、作業の完了率で記録するか、またはプロジェクトに対して定義されているマイルストーン アクティビティの完了ごとに記録することができます。
<b>スコア</b>	PeopleSoft Enterprise ストラテジック ソーシングでは、イベントの入札要因に対する回答数(パーセント)を指します。スコアはオークション イベント入札者にのみ示されます。
<b>ステージ</b>	選択したパートナー オファーを、企業の他のパートナーからのオファーと統合する方法です。
<b>ステップ</b>	PeopleSoft Enterprise Sales Incentive Management では、プラン内のセクションのコレクションを指します。各ステップは、ジョブ実行に含まれる特定のステップに対応します。
<b>スピードチャート</b>	複数のチャートキーを指定するユーザー定義の省略キーです。支払伝票入力に使用されます。スピードチャート定義内の各チャートキーにパーセンテージを関連付けることもできます。
<b>スピード入力</b>	チャートフィールド値の組み合わせを表すコードです。スピード入力を使用すると、一緒に使用されることの多い複数のチャートフィールドを簡単に入力できるようになります。

製品	PeopleSoft Enterprise またはサードパーティの提供する製品を指します。PeopleSoft では、提供するソフトウェア製品を製品ファミリまたは製品ラインに分類しています。Interactive Services Repository には、PeopleSoft によって販売される全ての製品の各リリースに関する情報が提供されています。また認定されたサードパーティの製品についても情報提供されています。それぞれの製品は、製品名とリリース番号によって区別されています。
製品カテゴリ	PeopleSoft Enterprise Incentive Management では、PeopleSoft Enterprise Incentive Management 製品スイート内の 1 アプリケーションを指します。PeopleSoft Enterprise Incentive Management システム内の各取引は、特定の製品カテゴリに関連付けられます。
製品追加	製品 A を購入すると製品 B が無料または特定の価格で購入できるようにする価格設定機能です (以前の名称は “無償提供品” )。
製品ファミリ	共通の機能を持つ製品のグループを指します。Interactive Service Repository で検索に使用できる製品ファミリ名としては、オラクル社の PeopleSoft Enterprise、JD Edwards EnterpriseOne、JD Edwards World、サードパーティ (認定されたパートナー) があります。
製品ライン	PeopleSoft Enterprise 製品ラインまたは認定されたパートナー (サードパーティ) の会社名を指します。Integration Services Repository では、製品ラインごとにインテグレーション ポイントを検索することもできます。
制約	ソーシング イベントでの落札方法に関する業務方針またはルールです。制約には、ビジネス、グローバル、イベントの 3 つのタイプがあります。
積載	PeopleSoft Enterprise 在庫管理において、まとめて出荷される商品のグループを指します。積載管理は、重量、容積、および出荷先を追跡するために使用される PeopleSoft Enterprise 在庫管理の機能です。
セキュリティイベント	コミットメントコントロールにおいて、セキュリティ権限チェックをトリガするイベントです。たとえば、予算の入力、振り替え、および調整、例外の上書きと通知、照会などがあります。
セクション	PeopleSoft Enterprise Incentive Management では、特定のタイプの取引に対して適用される奨励ルールのコレクションを指します。セクションを使用することにより、プランをセグメント化して、異なるセクション内の論理イベントを処理することが可能になります。
セッション	PeopleSoft Enterprise ラーニング マネジメントにおいて、1 つのアクティビティの各集合日を指します。つまり、1 日の開始時刻と終了時刻の間の時間です。セッションには、日付、場所、集合時刻、および講師の情報が格納されます。セッションはスケジュールの決められた研修に使用されます。
セッション テンプレート	PeopleSoft Enterprise ラーニング マネジメントにおいて、アクティビティのスケジュール設定に繰返し使用できる共通のアクティビティ特性を設定したものです。共通の特性としては、曜日、開始/終了時刻、施設と教室の割当、講師、設備などが挙げられます。セッション テンプレートは、スケジュールを設定する対象のアクティビティに関連付けることができます。アクティビティにテンプレートを関連付けると、テンプレートの全てのデフォルト情報がアクティビティ セッション パターンに入力されます。
設定パラメータカタログ	PeopleSoft Enterprise と連携する外部システムを設定するために使用されます。たとえば、設定パラメータカタログを使用して、外部サーバー用の構成および通信のパラメータを設定できます。
設定プラン	PeopleSoft Enterprise Incentive Management では、設定プランは共通の変数 (奨励ルールではありません) についての割当情報を保持するもので、参加者のないノードに関連付けられます。設定プランは取引によって処理されるものではありません。

設定リレーションシップ	PeopleSoft Enterprise Incentive Management では、任意のストラクチャノードに設定プランを関連付ける関係オブジェクトタイプを指します。
ゼロ税率/ゼロ消費税	税率が0パーセントの消費税コードを持つ消費税取引を指します。実際には消費税が課税されない消費税対象アクティビティを追跡するために使用されます。ゼロ税率の商品やサービスを供給する企業は、関連する仮払消費税を回収できます。これは回収可能免除とも呼ばれます。
先行タスク	次のタスクを開始する前に終了する必要があるタスクです。
ソーシング目標	制約において、ビジネスルールを必要(必須)にするか、推奨(目標)のみにするかを指定するオプションを指します。
ソース取引	コミットメントコントロールにおいて、コミットメントコントロールと統合された PeopleSoft Enterprise またはサードパーティアプリケーションで生成された取引で、コミットメントコントロール予算との比較チェックが可能な取引を指します。たとえば、プレエンカンパランス、エンカンパランス、支出、認識済収入、回収済収入などの取引がこれに当たります。
属性/値(ペア)	PeopleSoft Enterprise ディレクトリ インターフェイスにおいて、ディレクトリ情報ツリー内のエントリを構成するデータを表します。
代替勘定科目	PeopleSoft Enterprise 一般会計において、一部の国で必要とされる特別な記録方法や申告方法に従って、法定の勘定科目一覧表を作成したり勘定取引を詳細取引レベルで入力したりできる機能です。
台帳	PeopleSoft Enterprise 資産管理において、取得価額、減価償却属性、処分などの会計および税関連の情報を格納するために使用されます。
タイムスパン	PeopleSoft Enterprise 一般会計のさまざまな機能やレポートにおいて、特定の日付ではなく一定の期間が必要となき使用できる相対的な期間です。たとえば、会計年度の初めから今日までの期間や当期間などがあります。
代理入札	PeopleSoft Enterprise ストラテジックソーシングにおいて、入札者の代わりに入札を行うことを指します。代理入札者は、入札者が指定した金額を下げたり上乗せして、その入札者が落札できるようにします。
タスク	詳細なソーシングプランの成果物アイテムです。
多通貨	ビジネスユニットの基本通貨以外の通貨で、取引を処理できる機能です。
段階価格	スケジュールを分割してそれぞれに異なる価格を設定できます。
短期顧客	テンプレートを使用した受注入力時に入力された、システムに登録されていない顧客です。
地域ソーシング	PeopleSoft Enterprise 購買管理において、複数の入荷先所在地を地域別にグループ化したソーシングモデルに基づいて、適切な取引先と取引先価格設定の構造を管理、表示、および選択するためのインフラストラクチャです。ソーシングは、入荷先所在地より上位のレベルで行われる場合もあります。
チェックブック	PeopleSoft Enterprise プロモーション マネジメントにおいて、資金やプロモーションに関連する財務データ(計画、発生、および実際の金額)を参照するために使用します。
チャートキー	テーブル内の各行を一意に識別するための1つまたは複数のフィールドです。テーブルによって、キーとなるフィールドが1つだけの場合もあれば、複数必要な場合もあります。
チャートフィールド	PeopleSoft Enterprise アプリケーションに応じて、勘定科目やリソースなどの一覧を格納するフィールドです。各チャートフィールド値は、個別の勘定科目番号や部門コードなどを表します。

チャートフィールド一致	特定のチャートフィールドを、取引の貸借が常に一致するよう指定することができます。
チャートフィールド組合せ編集	ユーザー定義のルールに基づき、有効なチャートフィールドの組み合わせに対して仕訳行を検証するプロセスです。
チャネル	PeopleSoft マルチチャネル フレームワークにおいて、電子メール、チャット、ボイス (CTI (Computer Telephone Integration)) などのイベントや汎用イベントを指します。
調整プラン	取引に複数の価格ルールが適合する場合の調整の役割を果たします。調整プランでは、取引の基本価格に適用する価格ルールの順序を決定します。
直接受領	倉庫または取引先から別の倉庫に出荷されるアイテムです。
直納	取引先または倉庫から顧客に直接出荷されるアイテムです。
ツリー	全ての会計単位 (社内部門、プロジェクト、レポーティンググループ、勘定科目番号など) 間の関係と要約上の階層を視覚的に表すために、PeopleSoft Enterprise システムで使用される階層です。
提供方法タイプ	PeopleSoft Enterprise ラーニング マネジメントにおいて、組織内で選択可能なラーニング アクティビティの提供方法を示します。オンライン学習、教室での指導、セミナー、教本などがあります。このタイプによって、提供方法にスケジュール型のコンポーネントが含まれるかどうかが決まります。
提供方法/配送方法	<p>PeopleSoft Enterprise ラーニング マネジメントでは、それぞれのラーニング アクティビティを提供するための主な方法を示します。また、ラーニング アクティビティのデフォルト値 (費用や言語など) も併せて指定されます。これは主に、学習者が最も適した提供方法をカタログで検索できるようにする目的で使用されます。PeopleSoft Enterprise ラーニング マネジメントは混合型の学習システムなので、特定の提供方法を強制することはありません。</p> <p>PeopleSoft Enterprise サプライチェーン マネジメントでは、商品を出荷先へ送る手段 (トラック、航空、鉄道など) を示します。配送方法は、出荷スケジュールの作成時に指定されます。</p>
ディメンション	PeopleSoft 分析計算エンジンでは、分析モデルの基本的なコンポーネントとして、多岐にわたって使用される 1 種類のデータのリストがディメンションに格納されます。ディメンションは、分析モデル内で 1 つまたは複数のキューブに関連付けられます。PeopleSoft キューブ マネージャでは、OLAP キューブの最も基本的なコンポーネントとして、ディメンションの階層構造の作成に使用される PeopleSoft メタデータを指定します。PeopleSoft 分析計算エンジンで使用されるディメンションとデータキューブは、PeopleSoft キューブ マネージャで使用されるディメンションと OLAP (オンライン分析処理) キューブとは無関係です。
ディレクトリ情報ツリー	PeopleSoft Enterprise ディレクトリ インターフェイスにおいて、ディレクトリの階層構造を表します。
データエレメント	<p>最も単純なレベルでは、データのサブセットと、それらをグループ化するためのルールを定義するものです。</p> <p>ワークフォース アナリティクスでは、ワークフォース グループについてどのデータを取得し、どの測定値を適用するかをシステムに定義するルールを指します。</p>
データキューブ	PeopleSoft 分析計算エンジンにおいて、種類別にデータ (受注データなど) を格納するものです。データキューブは、1 つまたは複数のディメンションと併せて使用されます。PeopleSoft 分析計算エンジンで使用されるディメンションとデータキューブは、PeopleSoft キューブ マネージャで使用されるディメンションと OLAP (オンライン分析処理) キューブとは無関係です。
データ取得	PeopleSoft Enterprise Incentive Management では、外部のソースシステムから業務取引の生データを取得し、それをオペレーショナル データストア (ODS) に渡すプロセスのことです。



<b>データセット</b>	データをロールベースでフィルタリングおよび配布するためのデータグループです。データセットルールをユーザーロールに関連付けることにより、ユーザーごとに表示されるデータの範囲と量を制限できます。データセットルールを使用すると、ユーザーのロールに対して適切なデータのセットを取得できます。
<b>テーブルセット</b>	実際のデータ値は異なってもテーブルの構造が同じであるコントロールテーブル間で、類似する値セットを共有するための方法です。
<b>テーブルセット共有</b>	同じテーブルセットに基づく複数のテーブル内に格納されている共有データです。テーブルセット共有を使用しているテーブルには、追加キーまたは固有 ID として SETID フィールドが含まれます。
<b>手配タスク</b>	PeopleSoft Enterprise サービスプロキュアメントにおいて、サービスプロバイダを利用するにあたって発生する管理タスクを指します。手配タスクは、作業指示のサービスタイプにリンクされます。これにより、サービスのタイプに応じて異なる手配タスクを適用することができるようになります。手配タスクには、承認前タスク(新しい記事の割り当てや新しいノートパソコンの注文など)と承認後タスク(説明会のスケジュールリングやサービスプロバイダ宛て電子メールの設定など)があります。手配タスクは、必須にすることもオプションにすることもできます。必須の承認前タスクの場合、作業指示が承認される前に完了しておく必要があります。これに対し、必須の承認後タスクは、作業指示がサービスプロバイダにリリースされる前に完了しておく必要があります。
<b>テリトリ</b>	PeopleSoft Enterprise Sales Incentive Management では、地域、製品、顧客、業種、参加者などのビジネスオブジェクトの階層関係のことです。
<b>店頭受取数量</b>	店頭販売の環境で顧客が持ち帰る製品の数量です。
<b>店頭販売</b>	顧客との対面取引です。通常、顧客が店頭で商品を選んだり、事前に注文した製品を受け取ります。顧客は商品の代金を店頭で支払います。商品は倉庫から発送してもらう代わりに、店頭で受け取り自分で持ち帰ります。
<b>テンプレート</b>	特定の Web ページに関連付けられた HTML コードです。ページのレイアウトや、ページの各部に対応する HTML の取得場所が定義されます。PeopleSoft Enterprise では、テンプレートを使用して、多数のソースから HTML を連結して 1 つのページを構築します。PeopleSoft Enterprise ポータルでは、全てのテンプレートがポータルレジストリに登録され、各コンテンツ参照にはテンプレートが割り当てられている必要があります。
<b>動的詳細ツリー</b>	ユーザーによって入力された値の範囲からではなく、データベースのテーブルから詳細値(動的詳細)を直接取得するツリーです。
<b>ドキュメント連番</b>	法定レポートの作成や商取引アクティビティの追跡に使用する目的で、システム内の会計取引(請求、発注、入金、支払など)に連続した番号を柔軟に付けるための方法です。
<b>特別価格設定</b>	PeopleSoft Enterprise 受注管理において、価格ルールに関連付けられる調整プランタイプの 1 つです。特別価格設定は、受注取引の価格設定に使用されます。
<b>トランスレートテーブル</b>	データベース内のフィールドで、専用の編集テーブルを必ずしも持っていないさまざまなフィールドについて、コードとトランスレート値を格納するシステム編集テーブルです。
<b>取引ステータス</b>	PeopleSoft Enterprise Incentive Management では、給与ルールによって取引に割り当てられた値を指します。取引ステータスを使用すると、システム処理の特定のステージにある取引だけがセクションで処理されるようにすることができます。正常に処理された場合、取引は次の取引ステータスに更新され、別の処理を実行するために異なるセクションによって取得されます。
<b>取引割当</b>	PeopleSoft Enterprise Incentive Management では、取引のオーナーを識別するプロセスを指します。取引の生データがバッチからプランコンテキストに割

	り当てられると、取引は PeopleSoft Enterprise Incentive Management の取引テーブルにコピーされます。
トレース適用	PeopleSoft Enterprise 生産管理において、生産プロセス中にどの構成部品を追跡するかを制御する機能です。追跡できるのは、シリアル管理およびロット管理されている構成部品です。この情報は、アイテム マスターレコード内で管理されます。
入札回答	PeopleSoft Enterprise ストラテジックソーシングでは、イベントに対して入札者が回答することを指します。
入カイベント	PeopleSoft Enterprise 一般会計、売掛金管理、買掛金管理、購買管理、および請求管理において、単一の取引から生じる複数の借方および貸方を生成して、標準の補足会計入力を作成するビジネスプロセスです。
認証サーバー	システムのユーザーを確認するよう設定されたサーバーです。
ノードツリー	詳細構造に基づいているものの、詳細値は使用されないツリーを指します。
パートナー	ユーザー企業によって再販売または購入される製品やサービスを供給する企業を指します。
発生	PeopleSoft Enterprise プロモーション マネジメントにおいて、プロモーション関連の支払義務が発生することを指します。つまり、プロモーション アクティビティについて顧客にその金額を支払う義務があることを意味します。
パブリッシュ	PeopleSoft Enterprise Incentive Management では、奨励関連の結果を参加者に対して利用可能にする処理ステージのことです。
販売イベント	PeopleSoft Enterprise ストラテジックソーシングにおいて、イベント作成者にとっては、商品やサービスを販売することを指し、通常はフォワードオークションに関連付けられます。入札者にとっては、商品やサービスを購入することを指します。
ビジネス アクティビティ	サブビジネス プロセスを構成するサブセットです。ビジネス プロセス内で実行する特定のトランザクション、タスク、アクションなどがこれに当たります。
ビジネス イベント	PeopleSoft Enterprise 売掛金管理において、手形アクティビティに対する売掛金更新プロセスの処理特性を定義します。  PeopleSoft Enterprise Sales Incentive Management では、PeopleSoft Enterprise Incentive Management イベント (販売など) の作成の妥当性を示す、元となるビジネス取引またはアクティビティを指します。
ビジネス タスク	ビジネス プロセスを構成する個々の機能です。
ビジネス プロセス	PeopleSoft Enterprise 製品ファミリでは、17 の標準ビジネス プロセスが定義および管理されています。これらのビジネス プロセスは、ビジネス プロセス エンジニアリング グループによってサポートされます。ビジネス プロセスの例としては、受注、契約、在庫管理と出庫、請求までの一連の流れを管理する“オーダーフルフィルメント”などが挙げられます。  サブビジネス プロセスの説明も参照してください。
ビジネス ユニット	経営上または会計上の役割という点で独立している、企業または企業のサブセットを指します。
ビジネス ユニット制約	PeopleSoft Enterprise ストラテジックソーシングにおいて、選択したストラテジックソーシング ビジネス ユニットに適用される制約を指します。選択したストラテジックソーシング ビジネス ユニット内の全てのイベントにわたって支出が追跡されます。
評価ルール	PeopleSoft Enterprise 売掛金管理において、顧客の勘定や個別のアイテムの状況を評価して、フォローアップアクションを生成する必要があるかどうかを自動的に決定するためのユーザー定義ルールです。

<b>ファクト</b>	PeopleSoft Enterprise アプリケーションにおいて、ソース データベースや分析アプリケーションのフィールドから取得される数値データの値です。収益、実績、予算データ、売上など、業務を評価するためのあらゆる値がファクトに該当します。ファクトは、ファクトテーブルに格納されます。
<b>フェーズ</b>	レベル 1 のタスクを指します。タスクにサブタスクがある場合、レベル 1 のタスクはフェーズと見なされます。
<b>複数帳簿</b>	PeopleSoft Enterprise 一般会計において、1 つのビジネス ユニットに対し複数の基本通貨に対応する複数の元帳を定義することを指します。1 つの取引を全ての基本通貨(全ての元帳)に転記するか、1 つの基本通貨(1 つの元帳)に転記するかを選択できます。
<b>複製</b>	PeopleCode において、固有のコピーを作成することです。単なる“コピー”では、オブジェクトへの参照が新しく作成されるだけの場合もあり、その場合は元のオブジェクトが変更されると、コピーとオリジナルの両方が変更されます。
<b>プランニング インスタンス</b>	PeopleSoft Enterprise 供給管理において、供給計画の入力と出力を構成するデータのセット(ビジネス ユニット、アイテム、供給、需要)を指します。
<b>プラン</b>	PeopleSoft Enterprise Sales Incentive Management では、PeopleSoft Enterprise Incentive Management エンジンに取引の処理方法を指示する配賦ルール、変数、ステップ、セクション、および奨励ルールのコレクションのことです。
<b>プラン コンテキスト</b>	PeopleSoft Enterprise Incentive Management では、プラン コンテキストによって参加者がその割り当て先の給与プランとノードに関連付けられ、それにより、PeopleSoft Enterprise Incentive Management システムはそのノードに何が関連付けられているかや給与処理の実行に何が必要かを判断します。各参加者、ノード、およびプランの組み合わせは、固有のプラン コンテキストを表します。たとえば、3 人の参加者が同じ給与構造の場合、それらの参加者はそれぞれ異なるプラン コンテキストを持ちます。設定プランはプラン コンテキストによって識別され、それらを参照する参加者に関連付けられます。
<b>プランチ</b>	PeopleSoft ツリー マネージャで定義されたツリー階層において、上位ノードから分岐しているノードのことです。
<b>プラン テンプレート</b>	PeopleSoft Enterprise Incentive Management では、プランを作成するためのベースとなるものを指します。プラン テンプレートには、テンプレートから作成する全てのプランによって継承される共通のセクションと変数が含まれます。テンプレートにはまた、プラン定義内では確認できないステップやセクションが含まれる場合もあります。
<b>プログラム</b>	PeopleSoft Enterprise ラーニング マネジメントにおいて、カタログ アイテムの各セクションの学習順序を示した大まかなグループ単位を指します。PeopleSoft Enterprise ラーニングシステムには、カリキュラムと認定という 2 つのタイプのプログラムがあります。
<b>プロジェクト取引</b>	PeopleSoft Enterprise プロジェクトコスト管理において、コスト、時間、予算、またはその他の取引行を表す個々の取引行を指します。
<b>プロセス インスタンス</b>	各プロセスリクエストを識別するための一意の番号です。この番号は自動的に増加しながら、プロセスリクエストの実行時に提出されたリクエストに割り当てられます。
<b>プロセス カテゴリ</b>	PeopleSoft プロセス スケジューラにおいて、サーバーのロード バランシングと優先順位を基準にグループ化されたプロセスを指します。
<b>プロセス グループ</b>	PeopleSoft Enterprise Financials において、ユーザーが取引入力ページからリアルタイムに直接開始できるアプリケーションプロセスのグループを指します。プロセスは、定義された順序で実行されます。

プロセスジョブ	複数のプロセス定義を1つのジョブリクエストに関連付け、各リクエストを連続または並行して処理します。また、先行するリクエストのリターンコードに応じて、後続のプロセスの開始を制御することができます。
プロセスタイプ	PeopleSoft プロセス スケジューラにおいて、プロセスの種類を識別します。たとえば、SQR のプロセスタイプには、SQR プロセスや SQR レポートなど、全ての SQR プロセスが含まれます。
プロセス定義	各実行リクエストを定義します。
プロセスランコントロール	ランコントロール ID を参照する全てのリクエストについて、実行時に必要となる PeopleSoft プロセス スケジューラの値を取得するための PeopleTools 変数です。アプリケーションランコントロールと混同しないよう注意してください。後者も同じランコントロール ID を使用して定義される場合がありますが、各アプリケーションプロセスリクエストに固有の情報だけが含まれます。
プロセスリクエスト	PeopleSoft プロセス スケジューラを通じて実行する単一の実行リクエストです。SQR (Structured Query Report)、COBOL またはアプリケーションエンジンプログラム、Crystal レポートなどがあります。
プロモーション	PeopleSoft Enterprise プロモーション マネジメントにおいて、通常、取引資金から資金供給され、消費財の売上を伸ばすために製造元によって行われるプロモーションを指します。
ページレット	ホームページ上のコンテンツの各ブロックをページレットと呼びます。ページレットは、ページ上の小さな四角形の領域内にサマリ情報を表示します。ページレットを使用することで、PeopleSoft Enterprise の内外を問わずユーザーに最も関連のあるコンテンツを提供することができます。
変数	PeopleSoft Enterprise Sales Incentive Management では、計算の中間結果を指します。変数は計算結果を保持し、後で他の計算に入力されます。変数は、エンジンの実行後も保持されるプラン変数である場合と、特定のセクションの処理中にだけ存続するローカル変数である場合があります。
編集テーブル	固有のレコード定義を持つデータベース内のテーブルです。たとえば、部門テーブルなどがあります。PeopleSoft Enterprise アプリケーションでフィールドに値が入力されると、システム全体を通じてデータの整合性を確保するために、編集テーブルと照合して値が検証されます。
ベンチマーク職務	PeopleSoft Enterprise ワークフォース アナリティクス ソリューションにおいて、職務に対する給与調査データがサードパーティ機関から公にされている職務コードを指します。
法定勘定科目	財務結果の記録と申告について行政当局から要求される勘定科目です。PeopleSoft Enterprise では、これは代替勘定科目 (ALTACCT) チャートフィールドに相当します。
ポータルレジストリ	PeopleSoft Enterprise アプリケーションにおいて、コンテンツ参照を編成、分類、および登録するためのツリー構造です。フォルダによる階層ツリー構造を使用して、ポータルの構造とコンテンツの両方を定義します。これにより、コンテンツ参照の整理とセキュリティの確保を効率的に行うことができます。
保管レベル	PeopleSoft Enterprise 在庫管理において、資材保管場所のレベルを識別します。資材保管場所は、ビジネスユニット、保管区域、および保管レベルで構成されます。保管レベルは4つのレベルまで設定できます。
保存済入札	PeopleSoft Enterprise ストラテジックソーシングにおいて、作成済みで提出していない入札を指します。落札資格を得られるのは、提出した入札のみです。
マーケットテンプレート	PeopleSoft Enterprise Incentive Management では、特定のマーケットや業種に固有のものとして、製品カテゴリの最上位に作成される補足機能のことです。

<b>マッチンググループ</b>	PeopleSoft Enterprise 売掛金管理において、売掛金アイテムとマッチング相殺アイテムのグループを指します。マッチンググループは、選択されたフィールド値に対するユーザー定義のマッチング条件を使用して自動的に作成されます。
<b>未受付取引</b>	PeopleSoft Enterprise Incentive Management では、データ喪失や不完全データなどが原因で割当処理の完了後にノードや参加者によって受け付けられなかった取引を指します。未受付取引は、給与管理者によって適切なノードまたは参加者に手動で割り当てられる場合があります。
<b>未転記アイテム</b>	PeopleSoft Enterprise 売掛金管理において、入力または自動作成されたものの、まだ転記されていない個々の売掛金（請求書、貸方メモ、償却など）を指します。
<b>メタ SQL</b>	メタ SQL のコンストラクトは、プラットフォーム固有の SQL サブ文字列に展開されます。これは、SQL オブジェクト、SQLExec 関数、PeopleSoft アプリケーション エンジン プログラムなどで、SQL 文字列を渡す関数で使用されます。
<b>メタ文字列</b>	SQL 文字列リテラルに含まれる特別な表現です。メタ文字列には、プレフィックスとしてパーセント記号(%) が付けられ、文字列リテラルに直接含まれます。実行時には、使用されているデータベースプラットフォームに対応する適切なサブ文字列に展開されます。
<b>持分法</b>	PeopleSoft Enterprise 一般会計において、親会社が1か月ごとに子会社の純利益を計算し、その金額を調整して、連結の実行前に投資額と資本収益額に反映させることができるビジネスプロセスです。
<b>元帳マッピング</b>	経費データを一般会計の勘定科目からリソース オブジェクトに関連付けるために使用します。複数の元帳行アイテムを、1つまたは複数のリソース ID にマッピングできます。また、元帳マッピングを使用して、ビジネス ユニットに金額（レート）をマッピングすることもできます。金額をマッピングする際は、会計期間の実際のコストを表す実際金額と、キャパシティレートや予算モデル結果の計算に使用できる予算金額の2種類でマッピングできます。PeopleSoft Enterprise ウェアハウスでは、一般会計の勘定科目を EW 元帳テーブルにマッピングできます。
<b>有効日</b>	PeopleSoft Enterprise アプリケーション内の情報に日付を付ける方法です。システムに履歴データを追加するために過去の日付を指定したり、実際に有効になる前にデータを入力する場合は将来の日付を指定することもできます。有効日を使用することにより、古い値を削除せずに、新しい値を現在の有効日で入力できます。
<b>ユーザー介入オブジェクト</b>	PeopleSoft Enterprise Sales Incentive Management では、参加者が自分のコンテキストでアクセスできるレポーティング コンポーネントやレポートを定義するために使用します。PeopleSoft Enterprise Sales Incentive Management の全てのユーザー インターフェイス オブジェクトおよびレポートは、ユーザー介入オブジェクトとして登録されます。ユーザー介入オブジェクトは、給与関係オブジェクトを通じて（個別またはグループで）給与構造ノードにリンクすることもできます。
<b>要約期間</b>	PeopleSoft Enterprise ビジネスプランニングにおいて、他の要約期間や基本期間（四半期や年間）など、複数の期間の集合体である任意の期間を指します。基本期間はこれに該当しません。
<b>要約チャートフィールド</b>	特定の詳細値または選択したツリー ノードに基づいて、詳細金額をロールアップする要約元帳を作成するために使用します。詳細値がツリー ノードを使用して要約されている場合は、ノード名の最大長（20 文字）に対応するため、要約チャートフィールドを要約元帳データレコード内で使用する必要があります。
<b>要約元帳</b>	明細元帳からの勘定科目残高の合計を格納するため、主に配賦、照会、および PS/nVision レポート作成で使用される会計機能です。要約元帳を使用すると、レポート作成がリクエストされるたびに明細元帳の残高を集計する手間が省け、レポート作成の効率性とスピードが向上します。要約元帳には、ユーザー指定の条件に従ってバックグラウンドで処理された明細残高が保存されます。値が保存された要約元帳には、レポート作成時に直接アクセスできます。

予算会計のみ	システムによってのみ使用される勘定科目で、ユーザーが使用することではなく、取引を受け付けることもありません。この勘定科目では予算会計のみが可能で、以前は“システム管理勘定科目”と呼ばれていました。
予算期間	予算やレポート関連の目的で分割された時間の間隔です(月や四半期など)。チャートフィールドでは、1つの暦だけに制限されることなく、経営上の会計期間を非常に柔軟に定義できます。
予算コントロール	コミットメントコントロールにおいて、コミットメントと支出が予算を超過しないように管理する機能です。予算コントロールにより、予算額に対する取引額を追跡し、定義された予算条件が満たされない場合はドキュメントのサイクルを終了することができます。たとえば、発注に関連する予算の資金が足りない場合に、発注書が取引先に送付されるのを防ぐことができます。
予算チェック	コミットメントコントロールにおいて、コントロール予算元帳に照らし合わせてソース取引を処理し、取引がパスするかしないか、または警告付きでパスするかを検証するプロセスです。
予測アイテム	需要予測の基準として使用される需要データと予測データの固有のセットから成る論理要素です。予測アイテムは、さまざまな用途で作成されますが、最終的には組織内で購入、販売、または使用され、使用の予測が必要とされるアイテムを表します。
予約	PeopleSoft Enterprise 経費管理において、旅行会社に予約済みの出張予約を指します。
ラーニング環境	PeopleSoft Enterprise ラーニング マネジメントにおいて、学習者グループが利用できるカテゴリやカタログ アイテムのセットを指します。また、ラーニング環境ごとに作成されるラーニング アクティビティやプログラムに割り当てられるデフォルト値も併せて定義されます。ラーニング環境を使用すると、カタログを区別化することにより、学習者からは自分たちに関連するアイテムしか見えないようにすることができます。
ラーニング コンポーネント	PeopleSoft Enterprise ラーニング マネジメントにおいて、ラーニング アクティビティの基本構成単位を指します。PeopleSoft Enterprise ラーニング マネジメントでは、Web ベース、セッション、Webcast、テスト、調査、課題という6つのタイプのラーニング コンポーネントをサポートしています。この中の1つまたは複数のコンポーネントによって、1つのラーニング アクティビティが構成されます。
ライブラリ セクション	PeopleSoft Enterprise Incentive Management では、特定のプラン(またはテンプレート)で定義され、他のプランでも共有できるセクションのことです。ライブラリ セクションに加えた変更は、それを使用する全てのプランに反映されます。
ランコントロール	プロセスを開始するために使用されるオンライン ページの1タイプです。プロセスの例としては、給与計算のバッチ処理などがあります。ランコントロール ページでは、通常データを操作するプログラムが開始されます。
ランコントロール ID	ユーザーとランコントロール テーブルのエントリを関連付ける一意の ID です。
理想回答	PeopleSoft Enterprise ストラテジックソーシングでは、入札する場合に、落札資格を得るためには回答を理想値と一致させる必要がある質問を指します。回答が理想値と一致していない場合、入札はできますが、不適格な入札と見なされ落札資格は得られません。
リモートデータ/ソースデータ	別のデータベースから抽出され、ローカルのデータベースに移行されたデータです。
流通業取引アクティビティ	PeopleSoft Enterprise プロモーション マネジメントにおいて、割引を受けるのに必要なパフォーマンスを定義する、取引のプロモーションに関連付けられた割引タイプを指します(請求時値引き、請求後値引き、一括支払など)。業界一般で使われている用語では、オファー、値引き、販促イベント、戦術などに該当します。

<b>旅程</b>	PeopleSoft Enterprise 経費管理において、出張予約をまとめたものを指します。旅程には、選択した予約および旅行会社を通じた予約が表示されます。旅程に表示される予約は支払いが済んでいないため、“未完了予約”と呼ばれます。支払いが済んでいる予約は、“確認済予約”と呼ばれます。
<b>リンクセクション</b>	PeopleSoft Enterprise Incentive Management では、プラン テンプレートで定義されていて、特定のプランにも含まれるセクションを指します。リンク セクションに加えた変更は、そのセクションを使用している各プランに継承されます。
<b>リンク変数</b>	PeopleSoft Enterprise Incentive Management では、プラン テンプレートで定義および管理されていて、特定のプランにも含まれる変数を指します。リンク変数に加えた変更は、その変数を使用している各プランに継承されます。
<b>累計</b>	定義済みアイテムの処理時に、その累計値が格納されるエレメントです。累計エレメントには、単一または複数の値について、時間の経過に応じた累計値が格納されます。たとえば、全ての任意控除の金額が累計されるエレメント、または全ての会社控除の金額が累計されるエレメントなどを作成できます。これにより、期間やそれに基づく累計値を柔軟に処理できるようになります。
<b>例外</b>	PeopleSoft Enterprise 売掛金管理において、売上調整アイテムか未解決アイテムのいずれかを指します。
<b>レコードグループ</b>	論理的および機能的に関連付けられたコントロール テーブルとビューのセットです。レコード グループによって、重複するデータ入力を防ぐためのテーブルセット共有が可能になります。全ての関連するテーブルとビューにおいて、テーブルセットを一貫して共有できるようになります。
<b>レコード名</b>	1 つまたは複数の値が一致する関連フィールドを判別するのに使用されるレコードの名前です。
<b>連結消去セット</b>	PeopleSoft Enterprise 一般会計において、連結中に処理される会社間勘定科目のグループです。
<b>ロール</b>	PeopleSoft ワークフローにおける各ユーザーの役割を表します。ロールは、担当者や管理者など、行う作業のタイプごとに分類されるユーザーのクラスです。ビジネス ルールの定義では、通常、各アクティビティを行う必要のあるユーザー ロールを指定します。
<b>ロールアップ</b>	ツリー内で、階層に基づいて総額を計算することです。
<b>ロール ユーザー</b>	PeopleSoft ワークフローのユーザーです。個人のロール ユーザー ID は、システムの他の部分で使用されるユーザー ID とほぼ同じ目的で使用されます。PeopleSoft ワークフローでは、ロール ユーザー ID を使用して、ワークリスト アイテムをユーザーに送る方法（電子メールの使用など）を決定すると共に、ユーザーがワークフロー内で果たす役割を追跡します。ロール ユーザーには PeopleSoft ユーザー ID は必要ありません。
<b>ワークシート</b>	PeopleSoft Enterprise BAM (ビジネス分析モデラー) インターフェイスを使用してデータを分析する方法の 1 つです。ユーザーは、ワークシートを使用して、ピボットテーブル、チャート、メモ、および履歴情報に基づく詳細な分析を実行できます。
<b>ワークセット</b>	1 つのセットとして関連付けられる個人と組織のグループです。ワークセットを使用すると、個人と組織のグループのデータ取得と、取得した情報に対する作業を 1 つのページで同時に行うことができます。
<b>ワークリスト</b>	PeopleSoft ワークフローによって自動的に作成されるタスクリストです。ワークリストを使用すると、次のアクションの実行に必要なページに直接アクセスでき、その後再びワークリストに戻って別のアイテムを処理することができます。
<b>割当ルール</b>	PeopleSoft Enterprise Incentive Management では、システムが各ノードおよび関係者に取引を割り当てるために使用する、給与プラン内の式のことで、取引の割り当てを実行するとき、割当エンジンは、現在のノードからルー

**割戻**

トノードへと給与構造をトラバースし、割当ルールを含んだプランと比較して各ノードをチェックします。

卸売業界において、サプライヤとディストリビュータ間で取り交わされる契約を指し、この契約においては、指定した製品または製品グループが対象の顧客または顧客グループに販売された時点で、ディストリビュータに一定金額が支払われます。



# 索引

Customer Connection Web サイト x  
PeopleBook  
注文 x  
PeopleCode の表記規則 xii

## あ

値ページ 19, 22  
アプリケーションの基礎 ix

## お

オーストラリア (PeopleSoft Enterprise  
Salary Packaging) 10

## か

関連ドキュメンテーション x

## き

給与コンポーネント (定義) xxii  
給与ステップ コンポーネント (定義) xxii  
給与デフォルト 39  
給与データ リフレッシュ ページ 42  
給与パッケージ  
給与プランのデフォルト設定 40  
定義 xxii  
デフォルト値を使用した変更 39  
デフォルト値を使用しない再計算 40  
デフォルトについて 40  
リフレッシュ 42  
給与プラン テーブル ページ 26  
給与プランのデフォルト (設定) 40  
給与レート 18  
給与レート コード, 参照: 給与レート コード  
関連付けられたデフォルト ルールの  
表示 13  
給与レート コード クラスの作成 7  
給与レート コード クラス ページ 6  
“給与レート コード テーブル” - 年功  
給ページ 6  
“給与レート コード テーブル” - ユー  
ザー定義ルール ページ 6  
給与レート コード ページ 6  
グループの定義 14  
コンポーネント デフォルト ルールへ  
の割り当て 23

設定 6

定義 xxii, 7

年功給レート コードの作成 11

給与レート コード クラス 7

給与レート コード クラス ページ 6, 7

給与レート コード グループ 14

給与レート コード グループについ  
て 14

給与レート コード タイプ (定義) xxii

“給与レート コード テーブル” - 年功給  
ページ 6

“給与レート コード テーブル” - ユーザー  
定義ルール ページ 6, 13

給与レート コード ページ 6, 7, 19, 23

共通フィールド xv

## く

クラス, 参照: 給与レート コード クラス  
グループ, 参照: レート コード グループ

## け

警告 xiii

## こ

ご意見 xiv

固定的賃金外の給与 (定義) xxii

固定的賃金 (定義) xxii

固定的賃金の昇給率 14

ご要望 xiv

コンポーネント デフォルト ルール

値と条件との関連付け 22

給与レート コードの割り当て 23

コンポーネント デフォルト ルールにつ  
いて 17

条件の作成 21

使用するフィールドの指定 19

定義 21

例 17

コンポーネント デフォルト ルールで使用  
するフィールド 19

## し

事前設定

年功給 34

周期 (定義) xxii

従業員給与データのリフレッシュ プロセス 42  
 従業員給与データのリフレッシュ レポート (HR\_CMP015) 44  
 従業員給与パッケージ, 参照: 給与パッケージ  
 出力されたドキュメンテーション x  
 条件ページ 19, 21  
 職務給与レート (定義) xxii  
 職務コード コンポーネント (定義) xxii  
 職務コード (定義) xxii

## す

ステップ コンポーネント ページ 26, 31

## せ

前提知識 ix

## そ

相互参照 xiii

## た

対象従業員 36

## ち

注 xiii  
 注意事項 xiii  
 賃金引上  
   給与プラン テーブル ページ 26  
   ステップ コンポーネント ページ 26  
   設定および使い方 25  
   前提条件 25  
   賃金引上について 25  
   賃金引上ルールの定義ページ 26  
 賃金引上ルール  
   給与プランの定義 26  
   給与プランへの適用 31  
   定義 28  
 賃金引上ルールの定義ページ 26, 28

## つ

追加ドキュメンテーション x

## て

定義ページ 19, 21  
 デフォルト オプション ページ 19  
 デフォルト ルール (給与レート コードとの関連付け) 13

## と

統合 2  
 ドキュメンテーション  
   関連 x  
   最新版 x  
   出力 x

## に

日本 (学齢での年功給計算) 12

## ね

年功  
   対象 36  
   定義 33  
 年功給  
   管理 33  
   更新 35  
   事前設定 34  
   対象従業員の確認 36  
   定義 xxii  
   年功給について 33  
   ビジネス プロセス 33, 36  
   ビジネス プロセスの使い方 33  
 年功給コンポーネント (定義) xxii  
 “年功給対象者の更新” - “年功給対象者更新” ページ 34, 36  
 年功給対象者プロセス 37  
 “年功給の更新” - “年功給の更新” ページ 34, 35  
 “年功給” ページ - 給与レート コード テーブル 11  
 年功給レート コード  
   作成 11  
   従業員給与パッケージでの更新 33  
   昇給との関連付け 11  
 年功給レート コード (定義) xxiii

## は

パーセント タイプの給与レート コード 14

## ひ

ビジネス プロセス 1, 33, 36  
 表記規則 xii

## ふ

複数年功給ページ 34  
 プロセス (年功給対象者の更新) 37

## ほ

## 報酬管理

- 給与レート コードの設定 6

- 設定 5

- 統合 2

- 導入 2

- はじめに 1

- ビジネス プロセス 1

- 報酬管理について 1, 5

## よ

- 用語 45

- 用語一覧 45

## る

- ルール ベースの給与コンポーネント (定義) xxii

- ルール ベースのコンポーネント デフォルト設定

- 実行 39

- 定義 19

- ルール ベースのコンポーネント デフォルト設定について 17

## れ

- レポート (従業員給与データのリフレッシュ (HR\_CMP015)) 44

- 連絡先 xiv

- レートコード グループ

- 定義 xxii

- レートコード グループ ページ 15

- レートコード ページ 19

